

291  
別庫  
72

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始

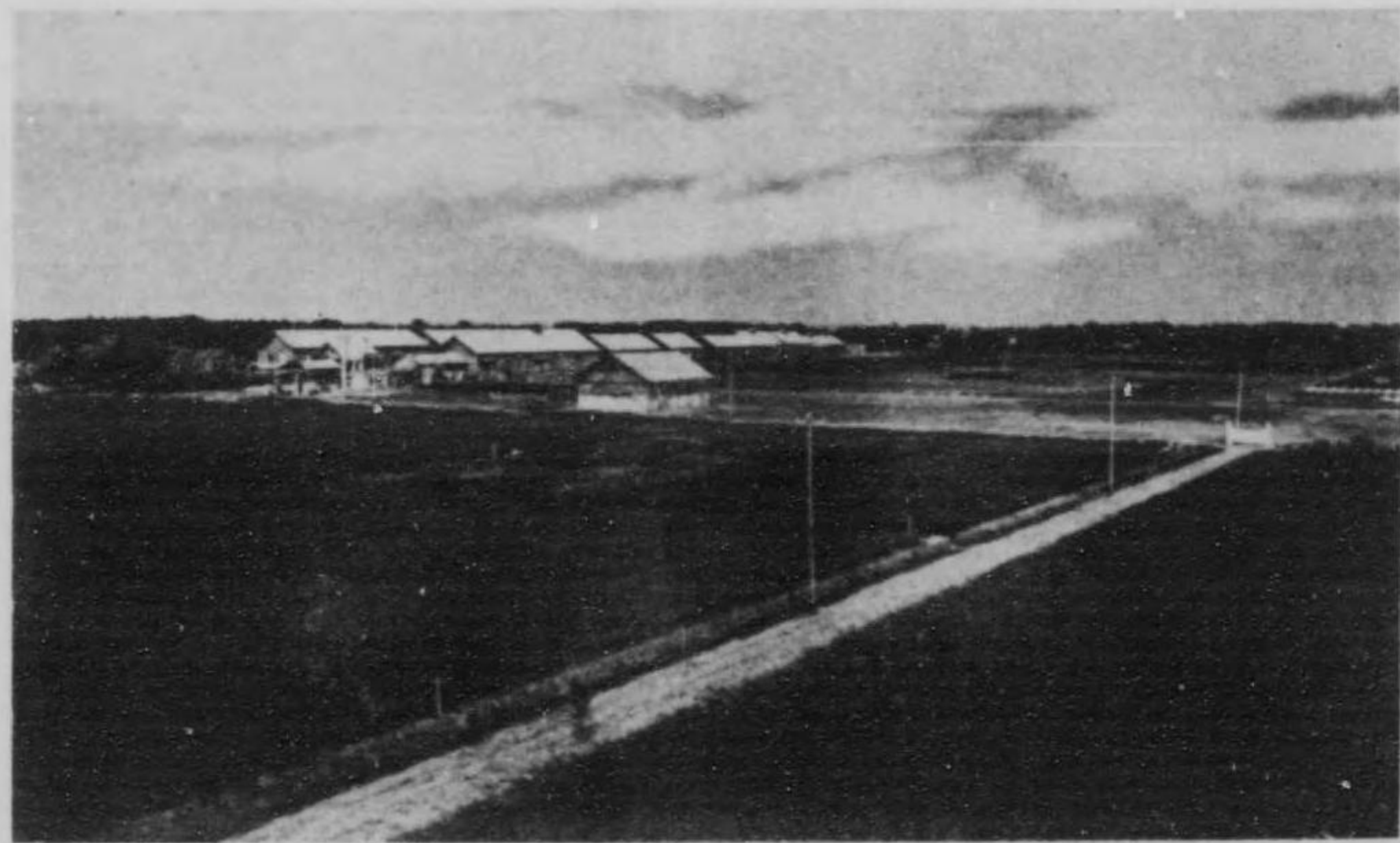


三重高等農林學校一覽

大正十四年度



舍校校學林農等高重三



場農驗實

291-72

三重高等農林學校一覽

大正十四年度

寄贈本



第一沿革

第二學年曆

第三法令

一、文部省直轄諸學校官制(抄)

二、文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

三、實業學校令(抄)

四、專門學校令(抄)

五、三重高等農林學校規程

六、實業學校卒業者入學ニ關スル件

七、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指、定

目次

大正 15. 3. 10 寄贈

八、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件	一五
九、實業學校教員養成規程	一六
十、文部省直轄實業專門學校委託生規程	一八
十一、文部省直轄諸學校外國人特別入學規程(抄)	一九
十二、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件	二〇
第四 規則	二〇
一、三重高等農林學校規則	二一
第五 細則	四八
一、事務規程	四八
二、物品會計細則	五六
三、圖書館規程	六九
四、總代規程	七五
五、學生制服規程	七六

六、寄宿舎規程	八一
七、寄宿料規程	八六
八、授業料徵收規程	八七
九、通學生規程	八八
十、非常警備及手配規程	九〇
十一、野外演習規程	九九
第六 職員	一〇一
第七 學生	一〇九
一、學生氏名	一〇九
二、學生數	一一九
三、地方別學生數	一二九
第八 卒業者	一二三
第九 敷地建物	一二六

附錄

校友會規則

第一 沿革



大正八年政府ハ高等教育機關創設及擴張ノ計劃ヲ樹テ第四十一帝國  
 議會ノ協賛ヲ經其ノ一トシテ高等農林學校ヲ三重縣下ニ設置スルニ  
 決シ八年九月位置ヲ津市上濱町ニ定ム次テ敷地ノ買收並地上工事ニ  
 着手シ十年三月其ノ工ヲ終ユ之ヨリ先三重縣ハ本校設置ノ議アルヲ  
 聞クヤ大正八年七月臨時縣會ヲ開キ創立費ニ對シ四十四萬五千圓ヲ  
 政府ニ寄附スルコトヲ議決シ九年三月其ノ手續ヲ了ス大正十年八月  
 本館其ノ他附屬校舍ノ新築工事ニ着手ス爾來沿革ノ大要ヲ舉クレハ  
 左ノ如シ

大正十年

十二月十日 勅令第四百五十六號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中改  
 正ヲ加ヘ本校ノ設置ヲ公布セララル

沿革

同月同日 勅令第四百五十七號ヲ以テ文部省直轄諸學校職員定員令  
中改正ヲ加ヘ本校ノ職員定員ヲ校長一人教授五人助教二人書記  
四人ト定メラル

同月同日 文部省事務官兼東京高等師範學校教授上原種美本校校長  
ニ任セラル

同月二十二日 文部省告示第五百七號ヲ以テ本校ノ位置ヲ三重縣津  
市上濱町ニ定メ大正十一年四月ヨリ授業ヲ開始スル旨告示セラル

同月同日 文部省告示第五百七十二號ヲ以テ本校ノ事務ハ當分ノ間文  
部省内ニ於テ之ヲ取扱フ旨告示セラレ文部省修文館ニ於テ事務ヲ  
開始ス

同月二十五日 雨天體操場及本館附屬建物新築竣工ス

大正十一年

一月十二日 文部省令第一號ヲ以テ本校規程ヲ公布セラル

同月十六日 本校規則ヲ制定ス

同月十七日 文部省告示第十一號ヲ以テ實業學校卒業生(但シ尋常小  
學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業  
程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業  
學校卒業生ニシテ志望學科ト同種類ノ學科ヲ修メタルモノニ限ル)  
ヲ本校ノ入學ニ關シ中學校卒業生ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ  
ト指定セラル三月十四日文部省告示第百六十三號ヲ以テ本校ノ事  
務ハ三月十六日ヨリ三重縣津市上濱町本校内ニ於テ之ヲ取扱フ旨  
告示セラレ雨天體操場ヲ以テ臨時事務所ニ充ツ

四月一日 大正十一年度入學志願者三百二十名中ヨリ農學科、農業土  
木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月五日 本館新築工事完成シ雨天體操場ヨリ事務所ヲ移轉ス

同月八日 寄宿舎並其ノ附屬建物新築竣工ス

同月二十二日 第一回入學式ヲ舉行ス  
 同月二十五日 始業式ヲ舉行ス  
 同月二十六日 授業ヲ開始ス  
 同月二十九日 勅令第二百四十二號ヲ以テ本校職員定員中教授五人ヲ九人ニ助教授二人ヲ七人ニ改正セラル  
 五月十日 本校實驗農場初耕式ヲ舉行ス  
 七月二日 鎌田文部大臣來校視察セラル  
 十月三日 教育ニ關スル勅語謄本及戊申詔書謄本ヲ下賜セラル  
 十二月二十八日 養蠶室及農場建物新築竣工ス

大正十二年

二月二十八日 實驗室新築竣工ス  
 三月二十八日 運動場工事竣工ス  
 同月三十日 大正十二年度入學志願者四百六十六名中ヨリ農學科、農

業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス  
 四月十一日 第二回入學式ヲ舉行ス  
 五月八日 勅令第二百二十九號ヲ以テ本校職員定員中教授九人ヲ十五人ニ助教授七人ヲ十人ニ書記四人ヲ五人ニ改正セラル

大正十三年

三月三十日 講堂、畜舍其ノ他五棟新築竣工ス  
 四月一日 大正十三年度入學志願者二百三十八名中ヨリ農學科四十名、農業土木學科四十二名及林學科四十名ノ入學ヲ許可ス  
 四月十五日 第三回入學式ヲ舉行ス  
 五月十六日 勅令第三百三十三號ヲ以テ本校職員定員中教授十五人ヲ十八人ニ助教授十人ヲ十二人ニ書記五人ヲ六人ニ改正セラル  
 六月二十日 圖書館、書庫、武道場、農業機械室其ノ他五件新築竣工ス  
 八月十五日 酪農舍、燻煙室、燻蒸室外二棟新築竣工ス



- 八月十九日 實驗農場ハ從來灌溉排水ノ便ヲ缺キ加フルニ損害亦尠カラサリシヲ以テ耕地ノ根本的整理改良ヲ企テ本年三月二十三日其ノ工事ニ着手灌溉排水電動裝置外十六點ノ施設ヲ竣成ス
- 十月二十六日 中橋前文部大臣來校視察セラル
- 十一月一日 本校開校式ヲ舉行ス岡田文部大臣柴垣文部省建築課長荒木京都帝國大學總長山岡三重縣知事三條西神宮大宮司其ノ他朝野ノ名士約五百名ノ來賓アリ
- 十一月十一日 乾藪室、羊舍、鶏舍、豚舍外二棟新築竣工ス
- 十一月三十日 高橋農商務大臣來校視察セラル
- 十二月四日 本校規則中入學ニ關スル項ヲ改正ス
- 十二月六日 特別研究室新築竣工ス
- 十二月二十日 官舍四棟及附屬建物新築竣工ス
- 十二月三十日 蠶種貯藏庫、作物栽培實驗室、簡易堆肥及水肥舍新築竣工ス

工ス

大正十四年

- 二月十五日 本校所屬演習林トシテ三重縣一志郡八幡村所在平倉國有林四百五十七町八反六畝八步ヲ農商務省ヨリ讓受ク
- 二月十八日 農産製造室、林産製造室、飼料室新築竣工ス
- 二月二十七日 本校内ニ三重縣立農業補習學校教員養成所ヲ設置ス
- 三月十四日 温室新築竣工ス
- 三月十七日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行シ農學科二十八名、農業土木學科二十八名及林學科二十三名ニ卒業證書ヲ授與シ農業土木學科選科一名ニ修了證書ヲ授與ス
- 三月二十三日 本校規則中授業料ニ關スル項ヲ改正ス
- 四月一日 大正十四年度入學志願者三百六十一名中ヨリ農學科、農業土木學科及林學科ニ各四十名ノ入學ヲ許可ス

同月同日 勅令第八十一號ヲ以テ本校職員定員中助教授十二人ヲ十  
 一人ニ改正セラル  
 四月十六日 第四回入學式ヲ舉行ス  
 五月二十七日 本校規則中學科課程ニ關スル項ヲ改正ス  
 十一月一日 開校紀念式並陸上運動會ヲ舉行ス

第二 學年曆

四月一日 學年始。第一學期始  
 四月三日 神武天皇祭  
 四月五日 春季休業終  
 四月六日 第一學期授業始  
 七月二十日 第一學期授業終  
 七月二十一日 夏季休業始

七月三十日 明治天皇祭  
 八月三十一日 天長節。第一學期終  
 九月一日 第二學期始  
 九月十日 夏季休業終  
 九月十一日 第二學期授業始  
 秋分日 秋季皇靈祭  
 十月十七日 神嘗祭  
 十月三十一日 天長節祝日  
 十一月一日 本校記念日  
 十一月二十三日 新嘗祭  
 十二月二十四日 第二學期授業終  
 十二月二十五日 冬季休業始  
 十二月三十一日 第二學期終

一月一日 四方拜、第三學期始  
 一月十日 冬季休業終  
 一月十一日 第三學期授業始  
 二月十一日 紀元節  
 春分日 春季皇靈祭  
 三月二十四日 第三學期授業終  
 三月二十五日 春季休業始  
 三月三十一日 第三學期終、學年終

### 第三 法令

#### 一、文部省直轄諸學校官制(抄)

(明治二十六年八月勅令第八十六號)

第一條 文部省直轄諸學校左ノ如シ

東京高等師範學校

廣島高等師範學校

東京女子高等師範學校

奈良女子高等師範學校

盛岡高等農林學校

鹿兒島高等農林學校

上田蠶絲專門學校

東京高等蠶絲學校

京都高等蠶業學校

鳥取高等農業學校

三重高等農林學校

宇都宮高等農林學校

岐阜高等農林學校

宮崎高等農林學校

(以下省略)

第六條 文部省直轄諸學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教授

生徒監

助教授

書記

第七條 校長ハ勅任又ハ奏任トス文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第八條 教授ハ勅任又ハ奏任トシ助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル

第九條 生徒監ハ奏任教官ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

生徒監ハ校長ノ指揮ヲ承ケ専ラ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第十條 書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ従事ス

第十七條 專任教官中其ノ學校所設ノ某學科ヲ擔任スヘキ者ヲ得サル場合ニ於テハ兼任教官ヲ置キ若ハ學校長ニ

於テ特ニ文部大臣ノ許可ヲ得テ臨時ニ講師ヲ囑託シ其ノ學科ノ授業ヲ擔任セシムルコトヲ得

第十九條 文部大臣ハ校務上ノ須要ニ依リ學校ニ商議委員會ヲ設クルコトアルヘシ其ノ委員ハ文部大臣之ヲ命ス

#### 二、文部省直轄諸學校職員定員令(抄)

(大正九年十一月勅令第五百五十二號)

文部省直轄諸學校專任職員ノ定員左ノ如シ

三重高等農林學校

校長一人 教授十八人 助教授十一人 書記六人

三、實業學校令(抄)

(大正九年十二月 勅令第五百六十四號改正)

第一條 實業學校ハ實業ニ從事スル者ニ須要ナル智識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス

第二條 實業學校ノ種類ハ工業學校、農業學校、商業學校、商船學校、水産學校其ノ他實業教育ヲ爲ス學校及實業補習學校トス

獸醫學校ハ農業學校ト見做ス

第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

四、專門學校令(抄)

(明治三十六年三月 勅令第六十一號)

第一條 高等ノ學術技藝ヲ教授スル學校ハ專門學校ト稱ス 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ

第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若ハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技藝ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規定ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及ヒ別科ヲ置クコトヲ得

第八條 官立專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及ヒ別科ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

五、三重高等農林學校規程

(大正十一年一月十三日 文部省令第一號)

第一條 三重高等農林學校ノ修業年限ハ三年トス

第二條 三重高等農林學校ノ學科ハ農業科、農業土木科及林學科トス

第三條 三重高等農林學校各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ毎週教授時數ヲ増減シ又休業期間ニ於テ實習實驗ヲ課シ若ハ臨時講義ヲ

聽カシムルコトアルヘシ

(學科目省畧)

第四條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ研究生トシテ二年以内在學セシムルコトヲ得

第五條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ選科生トシテ入學セシムルコトヲ得

六、實業學校卒業者入學ニ關スル件

(大正十三年三月十二日 文部省告示第百九號)

專門學校入學者檢定規程第八條第一號ニ依リ左記ノ者ヲ專門學校入學ニ關シ中學校若ハ修業年限四年ノ高等女學校卒業者ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノト指定ス

一、男子實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年、高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ實業學校ノ卒業者ニ限ル

七、公立私立實業學校教員タルコトヲ得ル者ノ指定

(大正八年七月八日 文部省告示第百九十二號)

明治四十年文部省令第二十八號公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程第一條第三號ニ依リ指定スルコト左ノ如シ

一、實業學校ノ教員タルコトヲ得ル者左ノ如シ

官立公立實業專門學校本科卒業者

八、三重高等農林學校卒業者無試驗檢定ニ關スル件

(文部省告示第十二號 大正十四年)

明治三十六年文部省告示第三十號教員無試驗檢定ニ關スル指定學校名及學科目中左ノ通改正ス

鳥取高等農業學校ノ次ニ左ノ如ク加フ

三重高等農林學校

農學科

農業

(特別講義及實驗ニ於テ動物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル)

植物

(特別講義及實驗ニ於テ植物ニ關スル科目每週七時間以上ヲ修メ其成績優等ナル者ニ限ル)

農業土木學科

數學

(當該科目成績優等ナル者ニ限ル)

九、實業學校教員養成規程

(大正四年三月  
文部省令第七號)

第一條 東京帝國大學農科大學附屬農業教員養成所、東京商科大學附屬商業教員養成所、東京高等工業學校附

設工業教員養成所及大阪高等工業學校附設工業教員養成所ノ生徒ニハ授業料ヲ徴收セス

前項養成所ノ生徒ニハ一箇月貳拾五圓以内ノ學費ヲ補給スルコトアルヘシ

帝國大學、官立大學及文部省直轄諸學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ授業料ヲ免除スルコトヲ得

第二條 前條養成所ノ生徒及前條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ卒業ノ日ヨリ左ノ期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

一、養成所ノ生徒ハ其ノ在學期間ノ二分ノ一

二、養成所ノ生徒ニシテ學費ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ニ第一號ノ期間ヲ加ヘタル期間

三、授業料ヲ免除セラレタル者ハ其ノ免除セラレタル期間ノ二分ノ一

第三條 前條ノ義務期間内ニ於テ學校ニ入學シ若ハ外國ニ留學セントスル者アルトキハ文部大臣ハ時宜ニ依リ之ヲ許可スルコトアルヘシ

前項ニ依リ許可ヲ受ケタル者ノ當該學校ニ在學中若ハ外國留學中ノ期間ハ前條ノ義務期間ニ算入セス

第四條 第二條ノ義務期間内ニ於テ文部大臣ノ指定ヲ受ケサルカ爲メ任意就職シタル者ハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

其ノ就職ヲ罷メ又ハ之ヲ變更シタルトキ亦同シ

前條ノ許可ヲ受ケタル者學校ヲ卒業又ハ退學シ若ハ歸朝シタルトキハ直ニ文部大臣ニ届出ツヘシ

第五條 第一條養成所ノ生徒及同條第三項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ授業費學費又ハ授業料ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

一、退學ヲ命セラレ又ハ自己ノ便宜ニ依リ退學シタルトキ

二、實業學校教員タルノ志望ヲ變更シタルトキ

三、第二條ノ義務ヲ盡サヌ又ハ第三條第一項ノ許可ヲ受ケスニシテ入學若ハ留學シタルトキ

前項授業費ノ額ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケ各教員養成所ニ於テ之ヲ定ム

第六條 地方長官ニ於テ文部大臣ノ指定ニ依リ教職ニ從事スル者ニ其ノ義務期間内、轉任、退職若ハ休職ヲ命セントスルトキハ事由ヲ具シ豫メ文部大臣ノ指揮ヲ受クヘシ但シ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタカ爲當然休職トナリタル者アルトキハ其ノ旨直ニ文部大臣ニ報告スヘシ

休職期間満了ノ爲退職者トナシタル者アルトキ若ハ休職期間中復職ヲ命ジタルトキ亦同シ

第七條 各養成所ニ募集スヘキ生徒ノ員數ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 大學及専門學校ノ學生生徒ニシテ卒業ノ後實業學校ノ教職ニ從事セントスル者ニハ一箇月貳拾五圓以內ノ學資ヲ補給スルコトアルヘシ

前項ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受クル者將來教員タルニ適セサルモノト認メタルトキハ文部大臣ハ學資ノ補給ヲ止ムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ既ニ支給シタル學資ヲ償還セシム但シ文部大臣ハ事情ヲ酌量シテ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトアルヘシ

第九條 前條ノ規定ニ依リ學資ノ補給ヲ受ケタル者ハ其ノ補給ヲ受ケタル年限ノ一倍半ニ相當スル期間文部大臣ノ指定ニ依リ實業學校ノ教職ニ從事スル義務ヲ有ス但シ必要ノ場合ニ於テハ文部大臣ハ他ノ教職ニ從事スルノ義務ヲ負ハシムルコトアルヘシ

第三條乃至第六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依リ學資ヲ補給スヘキ學生生徒ニ關シ之ヲ準用ス

### 十、文部省直轄實業専門學校委託生規程

(明治四十年七月 文部省令第二十三號)

第一條 北海道府縣郡市町村其ノ他ノ公共團體及私人ハ文部省直轄實業専門學校生徒ニシテ卒業後其ノ公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ者ニ學資ヲ補給シ委託生トシテ在學セシムルコトヲ得

條 公共團體又ハ私人ハ委託生ノ選定ヲ當該學校長ニ委囑スルコトヲ得

第三條 公共團體又ハ私人ヨリ委託生ニ補給スヘキ學資ハ一箇月拾圓以上トス

第四條 委託生ニハ授業料ヲ徴收セス

第五條 委託生ハ卒業ノ日ヨリ學資ノ補給ヲ受ケタル期間ニ一箇年ヲ加ヘタル期間當該公共團體又ハ私人ノ設置セル實業學校ノ教職ニ從事スヘキ義務ヲ有ス

第六條 委託生ニシテ在學中途退學シ又ハ委託生タルコトヲ止ムルトキ若ハ卒業後左ノ各款ノ一ニ該當スルトキハ其ノ補給ヲ受ケタル學資ヲ當該公共團體又ハ私人ニ償還スヘシ但シ當該公共團體又ハ私人ニ於テ酌量スヘキ情狀アリト認メタルトキハ其ノ全部又ハ一部ノ償還ヲ免除スルコトヲ得

一、前條ノ義務ヲ盡ササルトキ

二、懲戒免職ニ處セラレタルトキ

三、免許狀褫奪ノ處分ヲ受ケタルトキ

第七條 學校長ハ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

### 十一、文部省直轄學校外國人特別人學規程(抄)

(明治三十四年十一月 文部省令第十五號)

條 外國人ニシテ文部省直轄學校ニ於テ一般學則ノ規定ニ依ラス所定ノ學科ノ一科若クハ數科ノ教授ヲ受

ケントスル者ハ外務省、在外公館又ハ本邦所在ノ外國公館ノ紹介アルモノニ限り特ニ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條ニ依リ教授ヲ受ケントスル外國人ハ前條ノ紹介書ヲ添ヘ帝國大學總長若クハ學校長ニ願出ツヘシ

第三條 帝國大學總長若クハ學校長ニ於テ前條ノ出願ヲ受ケタルトキハ相當ノ學力アリト認メタル者ニ限り之ヲ許可スヘシ但シ學校ノ設備上差支アル場合ハ此ノ限りニアラス

第四條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニシテ學科修了ノ證明書ヲ受ケントスル者ニハ試験ノ上之ヲ附與スヘシ

第五條 本令ノ規定ニ依リ入學シタル外國人ニハ入學試験料入學料及授業料ヲ徴收セサルコトヲ得

第六條 帝國大學總長及學校長ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ニ關シ必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得

十二、臺灣、朝鮮人文部省直轄諸學校入學ニ關スル件 (明治四十四年四月) (文部省訓令第十六號)

文部省直轄學校外國人特別入學規程ハ臺灣人若クハ朝鮮人ニ之ヲ準用ス但シ其ノ入學ニ關シテハ臺灣總督府又ハ朝鮮總督府ノ紹介ヲ要ス

第四 規則

一、三重高等農林學校規則

第一章 總 則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ農林及農業土木ニ關スル高等ノ學術技藝ヲ教授スルヲ以テ目的トス

第二條 本校ニ農學科、農業土木學科及林學科ヲ置ク

第三條 各學科ノ修業年限ハ三年トス

第四條 本校ニ研究生選科生ヲ置クコトアルヘシ  
研究生及選科生ニ關シテハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外本科生ニ關スル規定ヲ準用ス

第二章 學科目及其ノ程度

第五條 各學科ノ學科目及其ノ程度ハ左ノ如シ但シ必要アル場合ニ於テハ各學科目ノ每週教授時數ヲ増減スルコトアルヘシ



農學科

學科目	年			第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
	第一	第二	第三									
修身	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
英語	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
物理學及氣象學	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3
化學及分析	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
動物學及昆蟲學	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
植物學及植物病理學	4	4	4	2	2	2	3	3	3	3	3	3
植物學及地質學	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
作物學及育種學	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

學科目	年			第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
	第一	第二	第三									
養蠶學				(不定時)	2							
園藝學							2	2	2			
畜產學							2	2	2			
實驗遺傳學							2	2	2			
土壤學及肥料學							2	2	2			
農具論	2											
農業工學		1	2									
農產製造學												
農業經營學												
農政學							2	3				
經濟學							2	3				
法學通論							2	3				
植物榮養論										(11)		
家畜榮養論										(11)		

學科目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	四	四	四	三	三	三	二	二	二
數學	六	六	六	四	四	四	二	二	二
物理學及氣象學	四	四	四						
植物學及植物生理學	三	三	三						
礦物學及地質學	三	二	二						
化學	二	二	二						
幾何	二	二	二						
應用力學		二	二						
應用水理學			二						

農業土木學科

學科目	第一學年	第二學年	第三學年	合計
應用商學				
林學大意				
獸醫學大意				
行政法大意				
財政學				
植民政策				
教育學				
獨逸語				
特別講義及實驗				
合計	二八 (二)	二八 (二)	二八 (四)	二七 (五)
農學實驗及實習(回数)	(不定時)			二七 (五)
農場實習(回数)	四	四	三	二六 (三)

經濟學	法學通論	設計及製圖	林學大意	行政法大意	植民政策	獨逸語	合計	實驗及實習(回数)	計畫演習
							三一	二	
							三三	三	
							三三	三	
		六					三四	三	
		八					三四	四	
		一二					三五	四	
二	二	一一	(二)	(二)	(二)	(三)	三三	二	不定時
二	二	一一	(二)	(二)	(二)	(三)	三三	二	同上
二	二	一五	(三)				三一	二	同上

測量學	材料及施工法	道路及橋梁	農業水利學	耕地整理論	農業機械學	原動機及揚水機	作物學	園藝學	土壤學及肥料學	農業經營學	農政學	農業土木法規
四												
四												
四							二	二				
二	二		二		二	二	二	二	二			
	二		二		二	二	二	二	二			
	三	二	二		二	二	一					
			二					二		二		
			二					二		二		
			二							二		
			二							一		三

林學科

學科 目	第一學年			第二學年			第三學年		
	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期	第一學期	第二學期	第三學期
修身	一	一	一	一	一	一	一	一	一
體操	二	二	二	二	二	二	二	二	二
英語	五	五	五	四	四	四	三	三	三
數學	二	二	二	三	三	三	一	一	一
物理學及氣象學	二	二	二	(三)三					
化學及分析	三	三	三	(三)一					
地質學及土壤學	二	二	二						
森林動物學及昆蟲學	二	二	二						

學科	第一學年	第二學年	第三學年
森林植物學及樹病學	三	三	三
森林測量學	三	(三)三	二
測樹學		一	二
林價算法及森林較利學			
造林學			
森林保護學			
森林利用學			
森林經理學			
森林工學			
森林理水及砂防工學	二	二	二
林產製造學	二	三	二
森林管理法	三	三	三
森林法規	二	二	二
林政學	四	四	四

經濟學及財政學	法學通論及行政法大意	狩獵術	農學大意	植民政策	教育學	特別講義及實驗	合計	林學實驗及實習(回数)	森林演習	森林事務見習
							二九	二		
							三〇 (三)	二		
							二九 (二)	二		
							二九 (三)	四	不定時	
							二九 (三)	四	同上	
							三〇	四	同上	
							二五 (六)	三	同上	不定時
							二四 (八)	三	同上	同上
							二二 (三)			同上

備考 各學科每週教授時數中括弧( )ヲ附スルモノハ實驗ノ時數トシ括弧( )ヲ附スルモノハ農學科ニ在リテハ選  
擇科目ノ時數農業土木學科及林學科ニ在リテハ隨意科目ノ時數トス、但シ選擇科目ハ二科目以上ヲ選修セ  
ザルモノトス  
本表ノ外體操ニ關シテハ各學科各學年共四日以上ノ野外演習ヲ課スルモノトス

第三章 學年、學期及休業日

第六條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第七條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期 自四月一日 至八月三十一日

第二學期 自九月一日 至十二月三十一日

第三學期 自一月一日 至三月三十一日

第八條 休業日ハ左ノ如シ但シ休日ト雖實習實驗ヲ課シ又ハ臨時講  
義ヲ聽カシムルコトアルヘシ

一、日 曜 日

一、祝日、大祭日

一、本校紀念日

一、春季休日 (自三月二十五日 至四月五日)

一、夏季休業 (自七月二十一日 至九月十日)

一、冬季休業 (自十二月二十五日 至一月十日)

第四章

入學、在學、休學及退學

第九條 入學ノ期ハ每學年ノ始メトス但シ臨時入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條 入學ヲ許可スヘキ者ハ品行方正志望鞏固ナル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ且入學檢定ニ合格シタル者タルヘシ

一、中學校卒業者

二、實業學校卒業者

但シ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年高等小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限三年若ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

三、前項ニ該當スル者ノ外專門學校入學者檢定規程第十一條ニ依

リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試験檢定ノ指定ヲ受ケタル者

四、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試験檢定合格者

前項第一號乃至第三號ニ該當スル學校ノ在學者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末日マテニ卒業スヘキ見込アリト認定セラレタル

モノハ其ノ證明ヲ以テ入學ヲ願出ツルコトヲ得

第十一條 入學檢定ハ學力檢定、身體檢査及口頭試問ニ依リ行フ

第十二條 學力檢定ヲ分チテ試験檢定及無試験檢定トス

第十三條 試験檢定ハ國語、英語、數學、物理、化學、動物及植物ノ中、三學科

目以上ニ就キ中學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

第十四條 驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ中學校又ハ實業學校

卒業者ニシテ在學中第三學年第四學年及第五學年(實業學校ニ在リテハ之ニ相當スル各學年)ノ學業成績ノ席次首位ヨリ數ヘテ全數ノ十分ノ一以內ニ在ル者トス但シ卒業ノ翌年度ヲ經過セサル者ニ限ル

前項ノ場合中學校又ハ實業學校在學者ニ付テハ最終學年ノ第一學期及第二學期ノ平均學業成績ノ席次ヲ以テ最終學年ノ席次ト看做ス

第十五條 無試験檢定ニ依リ入學ヲ許可スハキ人員ハ各學科募集人

員ノ三分ノ一以内トス

無試験檢定ニ依リ選抜セラレサリシ者ハ試験檢定ニ應スルコトヲ

得但シ此場合ニ於テハ第十六條ノ書類竝入學檢定料ヲ要セス

第十六條 入學志願者ハ第二條ニ掲クル學科ニ就キ其ノ志望學科ヲ

定メ左ノ書類ニ入學檢定料ヲ添へ學校長ニ差出スヘシ

一、入學願書 (第一號書式)

二、履歷書

三、當該學校長ノ卒業證明書又ハ卒業見込證明書卒業シタル場合

ニハ遲滯ナク更ニ卒業證明書ヲ差出スヲ要ス(若ハ專門學校入

學者試験檢定合格證明書

四、寫眞(入學願出前六箇月以内ニ撮影シタル脱帽半身手札形)

五、無試験檢定ヲ受クル者ニ在リテハ身體檢查書(在學中最後ノ身

體檢查書寫)

前項ノ外入學志願者ハ別ニ學業成績書(第二號書式)ヲ當該學校長ヲ  
經テ差出スヘシ

第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ二十日以内ニ保證人ノ連署ヲ以

テ誓書(第三號書式)及戶籍抄本ヲ差出スヘシ

第十八條 保證人ハ本人ノ父兄又ハ丁年以上ノ親近者ニシテ本校ニ  
於テ適當ト認メタルモノタルヘシ

前項ノ父兄又ハ親近者ナキトキハ學生ノ身上ニ關シテ一切ノ事件  
ニ付其ノ責ニ任スルニ足ルヘキ者ヲ以テ保證人トナスヨトヲ得

第十九條 保證人死去若ハ前條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人  
ヲ定メ速ニ誓書ヲ差出スヘシ

第二十條 保證人改姓改印轉居等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出  
ツヘシ

第二十一條 學生ハ本校所定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ

第二十二條 學生疾病又ハ事故ニ依リ缺席スル者ハ其ノ事由ヲ具シ三日以内ニ届出ツヘシ但シ疾病ノ爲缺席七日以上ニ亘ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十三條 學生疾病又ハ事故ニ依リ引續キ三箇月以上修業スルコト能ハサルトキハ保證人ノ連署ヲ以テ願書ヲ學校長ニ差出シ許可ヲ得テ一箇年以内休學スルコトヲ得但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

休學ヲ許可セラレタル者ハ休學期間滿了ノトキヨリ原級ノ課程ヲ修ムヘシ但シ休學期間中ト雖其ノ事故消滅シタルトキハ願ニ依リ詮議ノ上休學ヲ解除スルコトアルヘシ

第二十四條 學生改姓改名改印轉籍等ヲ爲シタルトキハ其ノ旨速ニ届出ツヘシ

但シ改姓改名轉籍ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添付スルヲ要ス

第二十五條 學生ハ學校長ノ許可ヲ受クルニアラサレハ他ノ學校ニ入學シ又ハ他ノ學校若ハ官署ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受クルニハ其ノ事由ヲ具シ保證人ノ連署ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

第二十六條 學生疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ但シ疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十七條 本校ヲ退學シタル者再入學ヲ願出テタルトキハ缺員アル場合ニ限り詮議ノ上試験ヲ行ヒ原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ但シ場合ニ依リ試験ヲ省略ス、試験ノ全部ヲ省略シタルトキハ入學檢定料ヲ徴收セス



第二十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ學籍ヲ除ク

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學業劣等若ハ身體虛弱ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三、正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 四、授業料ノ納付ヲ怠リ出席停止一箇月以上ニ亘ル者

第五章 表彰及懲戒

第二十九條 學生品行方正ニシテ學業ニ精勵シ其ノ成績優等ナル者其ノ他其ノ行爲他ノ模範トナスニ足ルト認メタル者ハ之ヲ選抜シ特待生トナシ又ハ他ノ方法ヲ以テ之ヲ表彰スルコトアルヘシ  
特待生ニハ授業料ヲ徴收セス  
特待生學業ヲ怠リ又ハ品位ヲ傷フ行爲アルトキハ特待生タルコトヲ罷ム

第三十條 學生校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ其ノ本分ヲ失フト

認メタルトキハ其ノ輕重ニ依リ戒飭停學又ハ放校ニ處ス

第六章 修業及卒業

第三十一條 各學年ノ課程修了ハ該學年ニ於ケル勤惰及學業ノ成績等ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十二條 前條ノ考查ニ合格セサル者ハ次學年ノ始ヨリ原級ノ課程ヲ再修セシム但シ場合ニ依リ詮議ノ上假進級ヲナサシメ再考查ヲ行フコトアルヘシ

第三十三條 已ヲ得サル事故ニ依リ試験ニ缺席シタル者追試験ヲ受ケンコトヲ願出ツルトキハ詮議ノ上之ヲ許可スルコトアルヘシ

第三十四條 第三學年ノ終ニ於テハ卒業論文ヲ提出セシメ又ハ卒業試問ヲ行フ

第三十五條 第三學年ノ課程ヲ修了シ卒業論文又ハ卒業試問ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十六條 第三學年ノ成績考査ニ合格セザル者ニハ本人ノ希望ニ依リ詮議ノ上修業證書ヲ授與スルコトアルヘシ

第三十七條 本校卒業生ハ其ノ修得セル學科ニ從ヒ農學得業士、農業土木學得業士又ハ林學得業士ト稱スルコトヲ得

第三十八條 成績考査ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第七章 研究生

第三十九條 本校卒業者又ハ他ノ實業專門學校卒業者ニシテ本校所定ノ學科目ニ關シ更ニ研究セントスル者ハ詮議ノ上研究生トシテ二年以内在學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十條 研究生タラントスル者ハ其ノ研究セントスル事項及在學期間ヲ具シタル願書ヲ學校長ニ差出スヘシ

第四十一條 研究生其ノ研究事項ヲ結了シタルトキハ研究報告書ヲ作り指導教員ヲ經テ之ヲ學校長ニ差出スヘシ

研究ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ研究證書ヲ授與ス

第八章 選科生

第四十二條 各學科ノ學科目中一科目若ハ數科目ヲ選擇學修セントスル者ハ詮議ノ上選科生トシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第四十三條 選科生ニシテ在學中ノ成績適當ナリト認メタル者ニハ修了證書ヲ授與ス

第九章 入學檢定料、授業料及實驗實習費

第四十四條 入學檢定料ハ金五圓トス、入學願書ト共ニ納付スヘシ

第四十五條 授業料ハ一學年本科生ハ金六拾五圓選科生ハ金四拾五圓トス、研究生ニハ授業料ヲ徵收セス

第四十六條 授業料ハ一學年ヲ左ノ三期ニ分チ每期ノ始ニ於テ之ヲ徵收ス

本科生

選科生

第一期 自四月至八月

金貳拾五圓

金貳拾圓

第二期 自九月至十二月

金貳拾參圓

金拾五圓

第三期 自一月至三月

金拾七圓

金拾圓

第四十七條 研究生及選科生ニハ實驗實習ニ要スル費用ノ全部若ハ一部ヲ徵收スルコトアルヘシ

第四十八條 入學檢定料、授業料及實驗實習費ハ一旦納付ノ後ハ何等ノ事由アリト雖之ヲ返付セス

第四十九條 本科學生中卒業後實業學校ノ教職ニ從事セントスル志望確實ナル者ニハ授業料ヲ免除スルコトアルヘシ  
前項ニ依リ授業料ヲ免除セラレタル者ハ實業學校教員養成規程ニ依リ卒業後實業學校ノ教職ニ從事スル義務アルモノトス

第五十條 停學ヲ命シ若ハ休學ヲ許可シタル者ニハ次期ヨリ授業料

ヲ徵收セス

各學期始業日以後授業料徵收期日以前ニ停學、休學又ハ退學シタルトキハ其ノ期ノ授業料ハ一學年分ノ十分ノ一トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ徵收ス

第五十一條 休學又ハ停學ヲ解除セラレタル者若ハ特待生タルコトヲ罷メラレタル者ニハ其ノ期ヨリ授業料ヲ徵收ス

第五十二條 授業料ハ定日マテニ納付スヘシ但シ定日以後ニ入學ヲ許可セラレタル者ハ入學許可ノ日ヨリ十日以内ニ之ヲ納付スヘキモノトス

第五十三條 授業料ヲ定日ニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ尙納付ヲ怠ル場合ハ出席ヲ停止ス

第十章 寄宿舎

第五十四條 寄宿舎ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

附則

第四十五條及第四十六條ハ大正十四年度入學者ヨリ之ヲ適用シ其ノ以前ノ入學者ニ對シテハ仍チ從前ノ規定ニ依ル

第一號書式

入學願書

志望學科 第一何學科  
第二何學科

試驗檢定 (又ハ無試驗檢定)

受験希望場所 何地 (但シ試驗場所ヲニケ所以上トシ廣告シタル場合)

私儀今般御校前記ノ學科ニ入學志望ニ付御許可相成度入學檢定料相添へ此段御願候也

本籍

住所 (受信ノ場所)

年月日

氏

名

印 (氏名ニ片假名ヲ付スヘシ)

年月日生

三重高等農林學校校長氏名殿

履歷書 (同一紙裏面ヨリ始ム)

學業

一、何年何月ヨリ何學校ニ入學、何年何月何學校卒業又ハ何年何月ヨ

リ何年何月マテ何某ニ就キ何學修業

一、何年何月何日何學校ニ於テ專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗

檢定合格證明書ヲ受ク等

職業

一、何年何月何官職拜命又ハ何業ニ従事、何年何月退官廢業又ハ現今

何官職何業従事等

兵役

一、何年何月何隊入營、何年何月滿期(歸休)除隊又ハ補充國民軍編入等

賞罰

規則

規則

四六

一、何年何月何所ニ於テ何々ノ賞罰ヲ受ク等  
第二號書式

學業成績書

右者本校在學中三年間ノ學業成績左記之通ニ候也

氏名  
學校長 氏名印

三重高等農林學校長氏名殿

學科目	學年			平均點數	席次	修了年次
	第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年			
何々々					人中	大正 年
何々々					人中	大正 年
何々々					人中	大正 年

注 冊 一 本 書 ハ 當 該 學 校 長 ヨリ 直 接 本 校 校 長 ニ 差 出 ス モ ノ ト ス

第三號書式

誓書

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ専心學業ヲ勉勵可致候仍テ保證人連署ヲ以テ誓書如此候也

年月日

本籍 住所 氏名印  
本籍 住所 戶主又ハ何某男若ハ弟等 氏名印

年月日生

本籍 住所 職業本人トノ關係

右保證人 氏名印  
年月日生

三重縣高等農林學校長氏名殿

規則

四七

### 第五 細則

#### 一、事務規程

##### 第一章 總則

第一條 校務ヲ掌理スル爲本校ニ庶務課、會計課、教務課、學生課、圖書課、農學科、農業土木學科、林學科、農場及演習林ヲ置ク

第二條 各課農場及演習林ニ長ヲ置キ各科ニ主事ヲ置ク

第三條 課長ハ教官又ハ書記ノ中ヨリ學校長之ヲ命シ主事農場長及演習林長ハ教官ノ中ヨリ學校長之ヲ命ス

第四條 校務ハ總テ學校長ノ決裁ヲ經ルニアラサレハ施行スルコトヲ得ス但シ事ノ輕易ニシテ先例アルモノハ各主管者ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得

第五條 各主管者ハ學校長ノ命ヲ受ケ所管ノ事務ヲ掌理シ所屬職員

ヲ監督ス

第六條 所屬職員ハ主管者ノ指揮ヲ受ク其ノ事務ニ從事ス

第七條 各主管者事故アリテ執務スルコト能ハサルトキハ所屬首席者其ノ事務ヲ代理ス但シ時期ニ依リ特ニ代理ヲ命スルコトアルヘシ

第八條 分掌セル校務ノ相關聯スルモノハ之ヲ合議スヘシ事務ノ所屬不明ナルモノアルトキハ學校長ノ指定ヲ受ケ之ヲ處理スヘシ

##### 第二章 分掌

第九條 庶務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、御眞影及勅語謄本ニ關スル事項
- 二、學校長ノ官印及學校印ノ保管ニ關スル事項
- 三、公文書類ノ接受發送及其ノ整理保管ニ關スル事項
- 四、庶務課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理保管ニ關スル事項

- 五、儀式ニ關スル事項
  - 六、官吏及雇員等ノ進退賞罰及身分ニ關スル事項
  - 七、敍位及敍勳ニ關スル事項
  - 八、規則ノ制定改廢及命令傳達ニ關スル事項
  - 九、學校一覽及記錄編纂ニ關スル事項
  - 一〇、統計報告ニ關スル事項
  - 一一、法律命令ノ加除訂正ニ關スル事項
  - 一二、名簿履歷書及出勤簿ニ關スル事項
  - 一三、會議ニ關スル事項
  - 一四、宿直ニ關スル事項
  - 一五、庶務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 一六、他ノ主管ニ屬セサル一切ノ事項
- 第十條 會計課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、歳入歳出豫算及決算ニ關スル事項
- 二、物品ノ出納及保管ニ關スル事項
- 三、金錢ノ出納及保管ニ關スル事項
- 四、官有財産及資金ノ監理ニ關スル事項
- 五、建物及校地ノ使用營繕ニ關スル事項
- 六、物品購入及不用品處分ニ關スル事項
- 七、傭人ノ進退賞罰及取締ニ關スル事項
- 八、校舍内外ノ洒掃ニ關スル事項
- 九、建物及校地ノ警備取締ニ關スル事項
- 一〇、電燈、電話、瓦斯、給水及煖房ニ關スル事項
- 一一、會計課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及整理保管ニ關スル事項
- 一二、會計課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 一三、其ノ他會計課ニ關スル一切ノ事項

第十一條 教務課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、教室、講堂、教具、教材ノ設備及整理保管ニ關スル事項
- 二、教授事項ノ分擔及日課ノ配當ニ關スル事項
- 三、授業及休業ニ關スル事項
- 四、學生募集並ニ入學檢定ニ關スル事項
- 五、學生ノ入學、退學、休學及學籍ニ關スル事項
- 六、成績考査進級卒業ニ關スル事項
- 七、教官會議ニ關スル事項
- 八、修學旅行ニ關スル事項
- 九、學事報告ニ關スル事項
- 一〇、教務ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項
- 一一、教務課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項
- 一二、參觀人ニ關スル事項

三、其ノ他教務ニ關スル一切ノ事項

第十二條 學生課ニ於テ左ノ事務ヲ掌ル

- 一、學生ノ訓育並ニ賞罰ニ關スル事項
- 二、學生ノ風紀取締ニ關スル事項
- 三、學生ノ衛生及身體檢査ニ關スル事項
- 四、學生ノ集會及印刷物ニ關スル事項
- 五、學生ノ願出ニ關スル事項
- 六、學生ノ兵役ニ關スル事項
- 七、學生ノ入退舍、外泊、通學、入院、歸省及旅行ニ關スル事項
- 八、寄宿舍ノ取締及管理ニ關スル事項
- 九、寄宿舍ノ炊事及出入商人ニ關スル事項
- 一〇、非常事變ニ關スル事項
- 一一、學生課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項



三、學生課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項  
三、其ノ他學生取締ニ關スル一切ノ事項

第十三條 圖書課ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、圖書ノ出納、整理及保管ニ關スル事項

二、圖書ノ貸付ニ關スル事項

三、書庫及閱覽室ニ關スル事項

四、官報、新聞、雜誌、年報一覽等ノ整理保存ニ關スル事項

五、圖書課ニ屬スル物品ノ整理保管ニ關スル事項

六、圖書課ニ屬スル公文書類ノ審議立案及其ノ整理ニ關スル事項

七、圖書ノ調査ニ關スル事項

八、其ノ他圖書ニ關スル一切ノ事項

第十四條 農學科、農業土木學科及林學科ニ於テハ各左ノ事項ヲ掌

ス

一、當該學科ニ屬スル學科目ノ教授ニ關スル事項

二、前號ニ伴フ建物試驗地及物品ノ整理保管ニ關スル事項

三、教授要旨及教授細目ノ編纂整理ニ關スル事項

四、教授分擔ニ關スル事項

五、事業功程ニ關スル事項

六、農學科ニ於テハ植物園ニ關スル事項

七、林學科ニ於テハ林學實習場ニ關スル事項

八、其ノ他當該學科ニ關スル事項

第十五條 農場ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル

一、農場ノ經營管理ニ關スル事項

二、農事實驗實習ニ關スル事項

三、養蠶實習ニ關スル事項

四、家畜飼育管理ニ關スル事項

- 五、農産製造及畜産製造實習ニ關スル事項
  - 六、生産物處分ニ關スル事項
  - 七、所屬建物物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 八、其ノ他農場ニ關スル事項
- 第十六條 演習林ニ於テハ左ノ事務ヲ掌ル
- 一、演習林ノ經營管理ニ關スル事項
  - 二、森林演習ニ關スル事項
  - 三、生産物處分ニ關スル事項
  - 四、所屬建物物品ノ整理保管ニ關スル事項
  - 五、其ノ他演習林ニ關スル事項

二、物品會計細則

第一條 本校物品會計ハ物品會計規則及文部省直轄各部物品會計規

程ニ基キ本則ニ據リ處理スヘシ

第二條 物品ノ種別ハ左ノ項目ニ從ヒ之ヲ區分スヘシ

備 品

通 常 備 品

共用  
專用

學 術 用 備 品

器具  
機械  
標本

動 物

圖 書

消 耗 品

通 常 消 耗 品

實 驗 用 消 耗 品

藥品、材料及雜品  
飼料、肥料、種苗

第三條 備品ニハ品名、番號及校名ヲ記載シタル票札ヲ附スヘシ之ヲ各部局ニ支給スル場合ハ更ニ其ノ部局名ヲ記入スルモノトス

但シ之ヲ附スルコト能ハサル物品ニ付テハ適當ノ方法ニ依リ整理スヘシ

第四條 各部局ニ於テ物品ノ支給ヲ受ケントスルトキハ其ノ品名、數量及需要ノ事由等ヲ記載セル請求書ヲ會計課ニ差出スヘシ但シ注文上仕様書及圖解等ヲ要スルモノハ之ヲ添付スヘシ

第五條 會計課ニ於テ前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ物品ノ在庫品ナルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ直ニ支給ノ手續ヲ爲シ之ヲ當該物品監守者又ハ物品取扱主任ニ交付シ新ニ購入ヲ要スルモノハ價格ヲ記シ學校長ノ許可ヲ經テ購入及支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第六條 通常所要ノ物品ハ會計課ニ於テ一箇年ノ所要高ヲ豫算シ學校長ノ許可ヲ經テ一回若ハ數回ニ取纏メ購入ノ手續ヲ爲シ之ヲ倉庫ニ藏置シ各部局ノ請求ニ應シ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第七條 各部局ニ於ケル實驗實習上生産シタル物品ハ當該物品取扱

主任ニ於テ其ノ品名數量評價及引繼年月日ヲ記載シ之ヲ物品會計官吏ニ引繼クヘシ

第八條 前條生産物又ハ保管轉換若ハ寄贈ニ係ル物品ハ物品會計官吏ニ於テ其ノ品名、數量及價格若ハ評價ヲ附シ學校長ノ許可ヲ經テ藏置、賣却又ハ支給ノ手續ヲ爲スヘシ

第九條 各部局ニ備品ニ付物品監守者、消耗品ニ付物品取扱主任一名若ハ數名ヲ置ク其ノ監守區域及取扱物品ノ種目ハ別ニ之ヲ定ム物品監守者及物品取扱主任ハ各自物品ノ使用又ハ取扱ニ關シ其ノ責ニ任スヘシ

第十條 職員執務用机椅子類及被服類ハ專用備品トシ專用者各自之ヲ監守シ其ノ責ニ任スヘシ

第十一條 職員及傭人ノ新任轉免ノ際ハ會計課ハ其ノ都度專用備品ノ支給返付ノ事ニ當ルヘシ

第十二條 物品監守者又ハ物品取扱主任物品ノ支給ヲ受ケタルトキハ直ニ備品ハ監守簿ニ消耗品ハ受拂簿ニ記帳シ現物ト對照ノ上所定ノ用紙ニ領收ノ印ヲ押捺シ遲滯ナク物品會計官吏ニ返付スヘシ但シ備品ニ在リテハ監守簿ニ物品備付ノ場所ヲ摘記シ其ノ所在ヲ明ニシ消耗品ニ在リテハ其ノ受拂殘高ヲ明確ニスヘシ

第十三條 物品監守者變更シタルトキハ新舊監守者及會計課員立合ノ上現品ト關係書類トヲ照合シ引繼ヲ爲スヘシ引繼ヲ了シタルトキハ新舊監守者連署シ其ノ旨物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ報告スヘシ

第十四條 物品監守者間ニ於テ物品監守換ノ必要ヲ生シタルトキハ其ノ旨會計課ニ通知シ制規ノ手續ヲ經テ現品ノ受授ヲ爲スヘシ

第十五條 物品監守者監守中ノ物品ニシテ自然ニ毀損シ修理ヲ要スルモノアルトキハ所定ノ請求書ヲ添ヘ會計課ニ差出スヘシ

會計課ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ學校長ノ許可ヲ經テ修理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十六條 物品監守者監守中ノ物品不用トナリ又ハ毀損シ修理ヲ加フルモ使用ノ見込ナキモノアルトキハ其ノ旨所定ノ物品返付用紙ニ記載シ現品ト共ニ會計課ニ差出シ物品會計官吏ノ受領證ヲ受ケ物品監守簿ニ其ノ事由年月日ヲ記載シ之ヲ抹削シ置クヘシ

第十七條 監守物品ノ票札ノ汚損若ハ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ直ニ會計課ニ通告シ更ニ票札ノ貼付ヲ受クヘシ

第十八條 監守物品ニシテ紛失シタルモノアルトキハ物品監守者ハ其ノ品名數量番號等ヲ取調ヘ其ノ實況ヲ詳記シタル始末書ヲ作り物品會計官吏ヲ經テ學校長ニ申報スヘシ

第十九條 不用ニ歸シタル物品又ハ毀損ノ物品ニシテ修理使用ノ見込ナキモノアルトキハ物品會計官吏ニ於テ處分案ヲ具シ學校長ノ

決裁ヲ受クヘシ

第二十條 使用中ノ物品ハ物品會計官吏左ノ各項ニ依リ之ヲ監督ス

ヘシ

一、備品ハ毎年一回以上物品出納簿ト各部局物品監守簿トヲ照合シ更ニ監守簿ト現品トヲ照査スルコト

二、消耗品ハ毎學期一回以上物品出納簿ト消耗品受拂簿トヲ照合シ更ニ受拂簿ト現在品トヲ照査スルコト

三、前項ノ調査ニ於テ物品ノ亡失毀損ヲ發見シタルトキ又ハ物品ノ使用上ニ付意見アルトキハ學校長ニ申報シ其ノ決裁ヲ受クヘシ

第二十一條 物品會計官吏ハ物品ノ出納保管ヲ明確ナラシムル爲左

ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品出納及支給簿

本簿ニハ圖書以外ノ備品ヲ第二條ノ物品種別ニ從ヒ各冊ニ別テ類別順品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ品名數量價格番號年月日納入等ヲ登記シ供用在庫ノ現數並物品ノ出納ヲ明ニスヘシ  
貴重物品ニ付テハ其ノ製作番號又ハ現品タルヲ知ルニ足ル事項ヲ關係書ニ記入スヘシ

二、圖書出納簿

本簿ニハ圖書ノ部門別ニ從ヒ圖書名部數冊數價格番號納入等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

三、消耗品出納簿

本簿ニハ通常消耗品ニ在リテハ帳簿用紙類、筆墨、印肉類、郵便切手類、印刷物類、薪炭油類、雜品類、雜用品類、實驗用消耗品ニ在リテハ實驗材料及雜品類、藥品類、肥料類、飼料類、種苗類等ニ區別シ品名數量價格年月日、納入等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ但シ通常消耗

品ニ在リテハ品目毎ニ細別シ口座ヲ設ケ登記スヘシ

四、生産品出納簿

本簿ニハ實驗實習ニ依ル生産品又ハ製造品ノ品名數量價格年月日等ヲ登記シ其ノ出納ヲ明ニスヘシ

五、専用備品支給簿

本簿ニハ職員又ハ傭人ニ支給スル専用備品ノ品名數量番號價格年月日等ヲ登記シ物品會計官吏ト其ノ支給ヲ受クルモノトノ受授ヲ明ニスヘシ

第二十二條 各部局物品監守者又ハ物品取扱主任ニ於テハ物品ノ出

納監守ヲ明確ナラシムル爲左ノ帳簿ヲ備ヘ之ヲ整理スヘシ

一、備品監守簿

本簿ニハ圖書以外ノ監守物品ノ品名數量番號價格年月日等ヲ登記シ監守物品ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

二、圖書監守簿

本簿ニハ部門毎ニ口座ヲ設ケ圖書名、部數、冊數、價格、年月日等ヲ登記シ圖書ノ現況ヲ知ルト共ニ現品ノ照査ニ便ナラシムヘシ

三、消耗品受拂簿

本簿ニハ郵便切手類以外ノ消耗品出納簿ノ順序ニ基キ品目毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ拂受者ノ證印ヲ押捺セシムヘシ

四、郵便切手類受拂簿

本簿ハ庶務課ニ之ヲ備ヘ種別毎ニ口座ヲ設ケ數量及受拂ノ年月日ヲ登記シ當該物品取扱主任ハ常ニ帳簿ノ殘高ト現品トヲ照査スヘシ

第二十三條 本校ニ物品檢閲委員ヲ置キ定期臨時ノ二種ニ分テ毎年

一回以上實地ニ付キ左ノ各項ヲ檢査セシム但シ定期檢閲ハ八月ト

ス臨時檢閲ハ臨時必要アリト認メタル場合ニ於テ之ヲ執行ス

- 一、物品保管ノ適否
- 二、物品使用ノ適否
- 三、消耗品消費ノ適否
- 四、物品缺損ノ有無
- 五、帳簿ト現品トノ對照

第二十四條 物品檢閲委員ハ委員長一名委員若干名トシ職員中ヨリ 學校長之ヲ命ス

第二十五條 物品檢閲ハ在庫品ニ在リテハ物品會計官吏使用中ノ物 品ニ在リテハ物品監守者、消耗品ニ在リテハ物品取扱主任ニ付キ其 ノ保管ニ屬スル物品ノ全部ヲ精細ニ検査スヘシ 前項ノ檢閲ヲ受クル者ハ實地ニ就キ檢閲委員ノ質問ニ對シ答辯スヘシ

第二十六條 物品檢閲委員検査ヲ了シタルトキハ帳簿ニ其ノ年月日ヲ記シ署名スヘシ

第二十七條 物品檢閲上物品ニ缺損アリタルトキハ檢閲委員ニ於テ 當該責任者ヨリ補填ノ方法及期限ヲ明書シタル始末書ヲ徴スヘシ

第二十八條 物品檢閲委員其ノ檢閲ヲ了シタルトキハ檢閲ノ顛末ニ 意見ヲ具シ關係書類ヲ添ヘ十五日以内ニ委員長ヲ經テ學校長ニ申 報スヘシ

第二十九條 本則ニ據ル諸帳簿並諸表ハ別紙様式ニ依リ調製スヘシ

備品監守區域及消耗品取扱種目表

部局名	備品監守區域	消耗品取扱種目
庶務課	校長室、講堂、貴賓室、會議室、應接室、宿直室、庶務課室	郵便切手及書
教務課	普通教室、教官室、教務課室	通常消耗品中教授用ノモノ

會計課	會計課室及他ノ部局ニ屬セサル箇所	通常消耗品
學生課	寄宿舎、雨天體操場及銃器室、武道場及生徒控所、學生課室	
圖書課	圖書館、書庫	
植物學實驗室	植物學及植物病理學實驗室、培養基室、定溫器室、細菌室、博物學教室、博物學標本室、硝子室	實驗用消耗品
動物學實驗室	動物學及昆蟲學實驗室、顯微鏡寫真室、顯微鏡實驗室	同
物理學實驗室	物理學實驗室、物理器具機械室、電池室、物理教室	同
化學實驗室	分析室、天秤室、化學器具機械室、化學教室、藥品庫、瓦斯蒸發室、蒸餾室	同
養蠶學實驗室	養蠶室、蠶種貯藏室、乾繭室	同
園藝學實驗室	同研究室、溫室	同
畜産學實驗室	同研究室、家畜家禽舎、飼料室、薰烟室、酪農室、畜産標本室	同
農學科	作物研究室、農學科標本室、特別標本室	同

農業土木學科	農業水理實驗室、農業土木教官製圖室、農業土木器具機械室	同
林學科	砂防工學實驗室、林學科器具機械室、林學科教官研究室及製圖室、林産製造室、林學實驗室、木材標本室	同
實驗農場	農場事務室及實習室、農夫詰所、農場作業室、收納室、穀物庫、農具室、農産製造室、堆肥舎、物置、藁置場、水肥舎、農夫舎、秤場	同 通常消耗品中 事務用ノモノ

三、圖書館規程

總則

第一條 本校圖書館ハ本校ノ圖書ヲ保管シ本校職員及學生ノ閱覽又ハ貸付ニ供ス

第二條 圖書ヲ分チテ普通圖書及特別圖書ノ二種トス

第三條 本校卒業者官廳學校職員、公私團體ノ役員又ハ個人ニシテ學校長ノ許可ヲ經タルモノハ圖書ヲ閱覽シ又ハ之ヲ借受クルコトヲ



得

第四條 本館員ノ外圖書ノ出納ヲ爲スコトヲ得ス

圖書閱覽

第五條 閱覽室ハ休業日ヲ除ク外毎日之ヲ開ク

但シ開閉ノ時限ハ變更ノ都度之ヲ揭示ス

第六條 學生閱覽室ニ入ラントスルトキハ圖書閱覽票ヲ館員ニ渡シ

置キ退場ノ際之ヲ受ケ取ルヘシ

第七條 圖書ヲ借覽セントスル者ハ所定ノ圖書閱覽傳票用紙ニ相當

事項ヲ記入シ館員ニ差出シ圖書ヲ借受ケ閱覽了ラハ直ニ之ヲ返納

スヘシ但シ閱覽冊數ハ一時ニ三冊ヲ超ユルヲ得ス

第八條 圖書ハ必ス閱覽室ニ於テ閱覽スヘシ閱覽室備付ノ圖書及雜

誌類ハ定メタル席ニ於テ閱覽シ閱覽了ラハ直ニ所定ノ位置ニ納メ

置クヘシ

第九條 閱覽室ニ在リテハ靜肅ヲ旨トシ音讀談話喫煙等ヲ爲スヘカ  
ラス

第十條 閱覽室ニハ圖書文房具ノ外他ノ物品ヲ携帯スルコトヲ得ス

第十一條 圖書閱覽票ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス

圖書貸付

第十二條 圖書ヲ借受ケントスル者ハ所定ノ圖書借受證用紙ニ相當

事項ヲ記入シ捺印ノ上館員ニ差出スヘシ

第十三條 圖書借受ノ冊數ハ左ノ制限ヲ超ユルコトヲ得ス但シ學校

長若ハ當該學科主任教官ノ證明ニヨリ圖書課長ノ承諾ヲ得タルモ

ノハ此ノ限リニアラス

教官 五冊 其ノ他 二冊

第十四條 教授上又ハ事務上必要アルトキハ前條ノ外圖書ヲ借受ケ  
研究室又ハ事務室ニ之ヲ備付クルコトヲ得此ノ場合ニハ當該學科

主任教官又ハ課長其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十五條 圖書館ニ所藏スル教科書ニツキテハ每學年ノ初メ當該教官ニ於テ豫メ冊數ヲ取り纏メ借受ノ申出アルトキハ之ヲ貸付スルコトアルヘシ但シ當該教官其ノ保管ノ責ニ任スルモノトス

第十六條 特別圖書及普通圖書ノ中辭書諸學科ニ通スル參考書及閱覽室備付ノ圖書ハ之ヲ貸出スコトヲ得ス但シ學校長ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限リニアラス

第十七條 新着ノ圖書雜誌等ハ受入後一週間ハ之ヲ貸付セス

第十八條 凡テ借受ケタル圖書ハ他ニ轉貸スルコトヲ許サス但シ第十四條ニ依ル圖書ハ第十二條ノ手續ヲ準用シテ他ニ貸付スルコトヲ得

第十九條 學生ニシテ圖書ヲ借受ケタルモノハ十日以内ニ之ヲ返納スヘシ若シ引續キ借受ノ必要アルトキハ更ニ第十二條ノ手續ニ依

ルヘシ但シ第十五條ニ依リ借受ケタルモノハ此ノ限リニアラス

第十三條 ニヨリ職員ノ借受ケタルモノ及第三條ニ依リ借受ケタルモノノ借受期間ハ一ヶ月以内トス

第二十條 凡テ借受ケタル圖書ハ夏期及冬期休業前又ハ每學年ノ終ニ於テ指定ノ期日マテニ悉皆返納スヘシ但シ第十四條ニ依ルモノハ此ノ限リニアラス

第廿一條 夏期及冬期休業中圖書ヲ借受ケントスル者アルトキハ職員ハ圖書課長學生ハ圖書課長及當該學科教官ノ許可ヲ得タルモノニ限リ之ヲ貸付クルコトヲ得但シ該圖書ハ夏期ニ於テハ九月十五日マテニ冬期ニ於テハ一月十五日マテニ返納スヘシ

第廿二條 貸付シタル圖書ハ第十三條第十四條及第十五條ノ孰レニ依ルモノタルヲ問ハス臨時返納セシメ之ヲ點檢スルコトアルヘシ但シ第十四條ニ依ル圖書ニツキテハ時宜ニ依リ本館員出張ノ上點

檢スルコトヲ得

第廿三條 職員退職轉任ノ場合、學生卒業退學休學等ノ場合ハ其ノ借受ケタル圖書ヲ直ニ返納スヘシ

圖書檢索

第廿四條 各部局長及教官公務上必要アルトキハ圖書館員ノ承諾ヲ得テ書庫内ニ入り圖書ノ檢索ヲナスコトヲ得

第廿五條 圖書ヲ檢索スル者ハ圖書ノ位置ヲ錯亂セサルハ勿論出納者ニ障礙ヲ及ホサル様注意スヘシ

制 裁

第廿六條 借受ケタル圖書ハ借受者其ノ保存ノ責ニ任シ若シ紛失汚損等ノ行爲アルトキハ同一ノ圖書ヲ以テ償ハシメ又ハ之ヲ修補セシム但シ時宜ニヨリ相當ノ代價ヲ以テ辨償セシムルコトアルヘシ

第廿七條 本則ニ違背シタルモノ其ノ他本館員ニ於テ必要アリト認

ムルモノアルトキハ一定ノ期間又ハ無期限ニ圖書ノ閱覽及貸付ヲ禁スルコトアルヘシ

第廿八條 圖書ヲ辨償セシメ又ハ閱覽貸付ヲ禁スヘキモノアリト認ムルトキハ圖書課長ハ豫メ意見ヲ具シ學校長ニ稟申スヘシ

四、總代規程

第一條 各學科各級ニ總代及副總代各一名ヲ置ク

第二條 總代ハ其ノ級ヲ代表シ學校ト學生及各級間ノ關係ノ圓滑ヲ圖リ兼テ級ノ統一秩序及風紀ノ振作ニ努ムヘシ

第三條 副總代ハ總代ヲ補佐シ總代事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四條 各級學生ハ各學期ノ始ニ於テ其ノ級總代及副總代ノ候補者五名ヲ投票ニ依リテ選舉スヘシ

第五條 總代及副總代ハ前條ノ候補者中ニ就キ學校長之ヲ任命ス但

シ其ノ候補者適當ナラスト認ムルトキハ更ニ選舉ヲ行ヒ別ニ候補者ヲ定メシムルコトアルヘシ

第六條 第一學年第一學期ニ在リテハ第二條ノ規定ニ依ラス學校長ハ適宜總代及副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

第七條 總代及副總代ノ任期ハ一學期間トス

第八條 總代又ハ副總代ニシテ其ノ任ニ適セスト認ムルモノアルトキハ學校長ハ之ヲ免シ第四條及第五條ノ手續ニ依リ更ニ總代又ハ副總代ヲ任命スルコトアルヘシ

前項ニ依ル總代又ハ副總代ノ任期ハ其ノ殘期間トス

五、學生制服規程

第一條 學生ノ制服ハ左ノ如シ  
帽子

地質 黑絨

前章 金色如圖

眼底 黑革

願紐 黑革(幅三分)

釦 金色圓形

帶布 黑色綾織(幅一寸五分)

制式 如圖

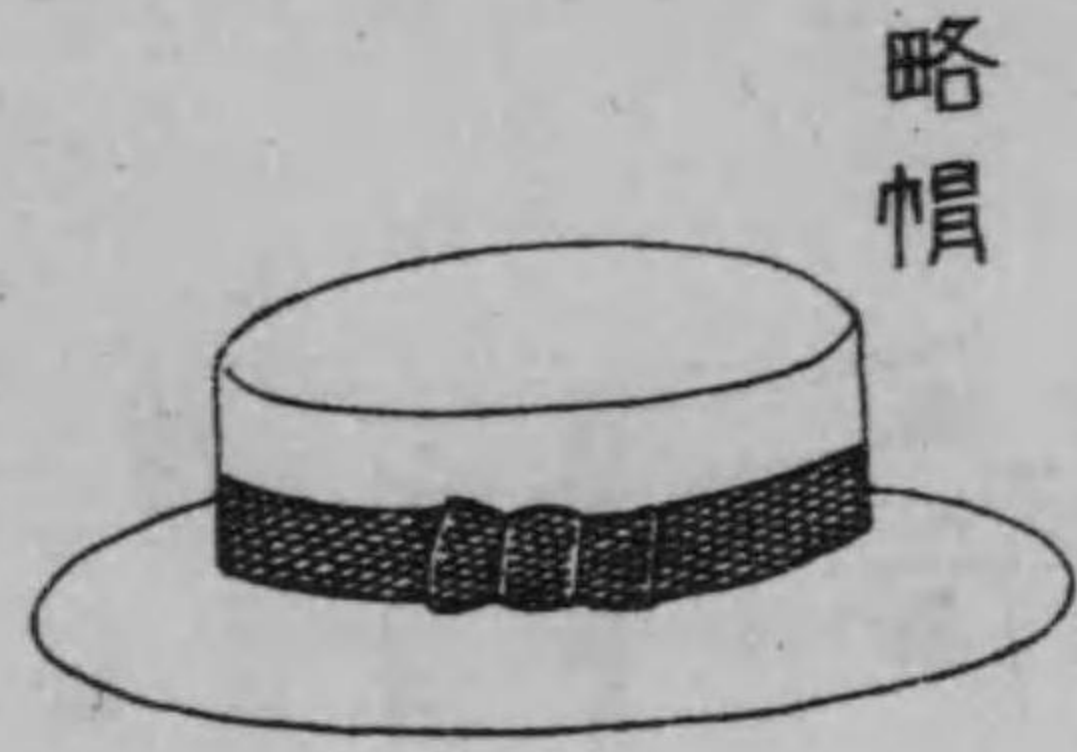
衣

地質 黑又ハ濃紺ヘル但シ夏ハ小倉藍鼠霜降

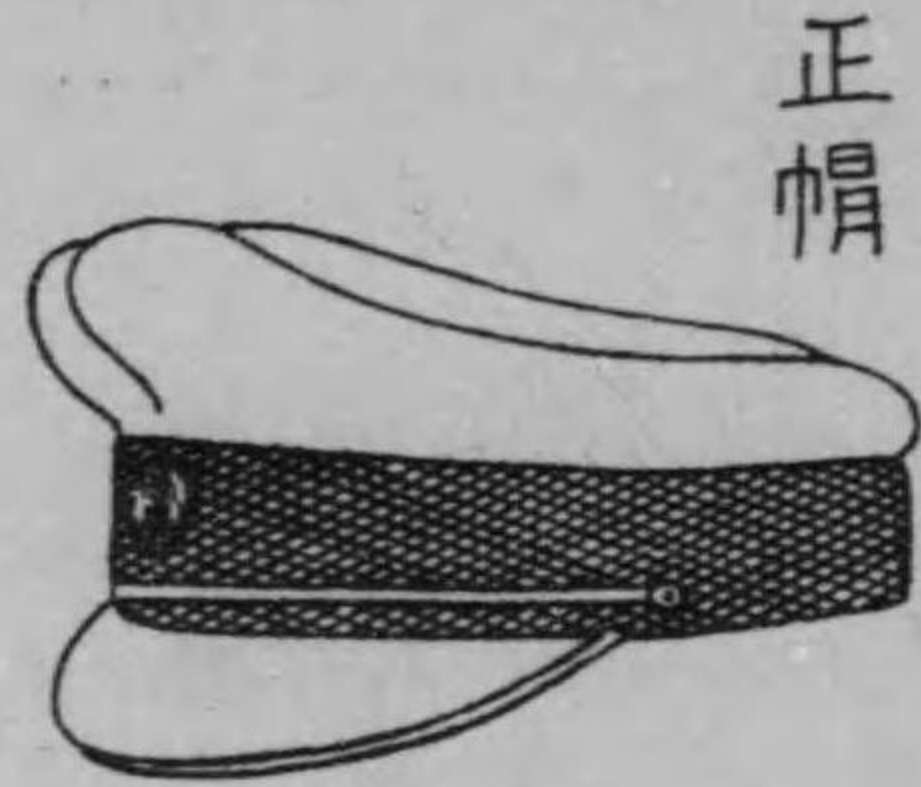
釦 金色如圖

標章 左襟ニ農學科ハA、農業土木學科ハE、林學科ハF、ノ金字ヲ附ス

制式 如圖



略帽



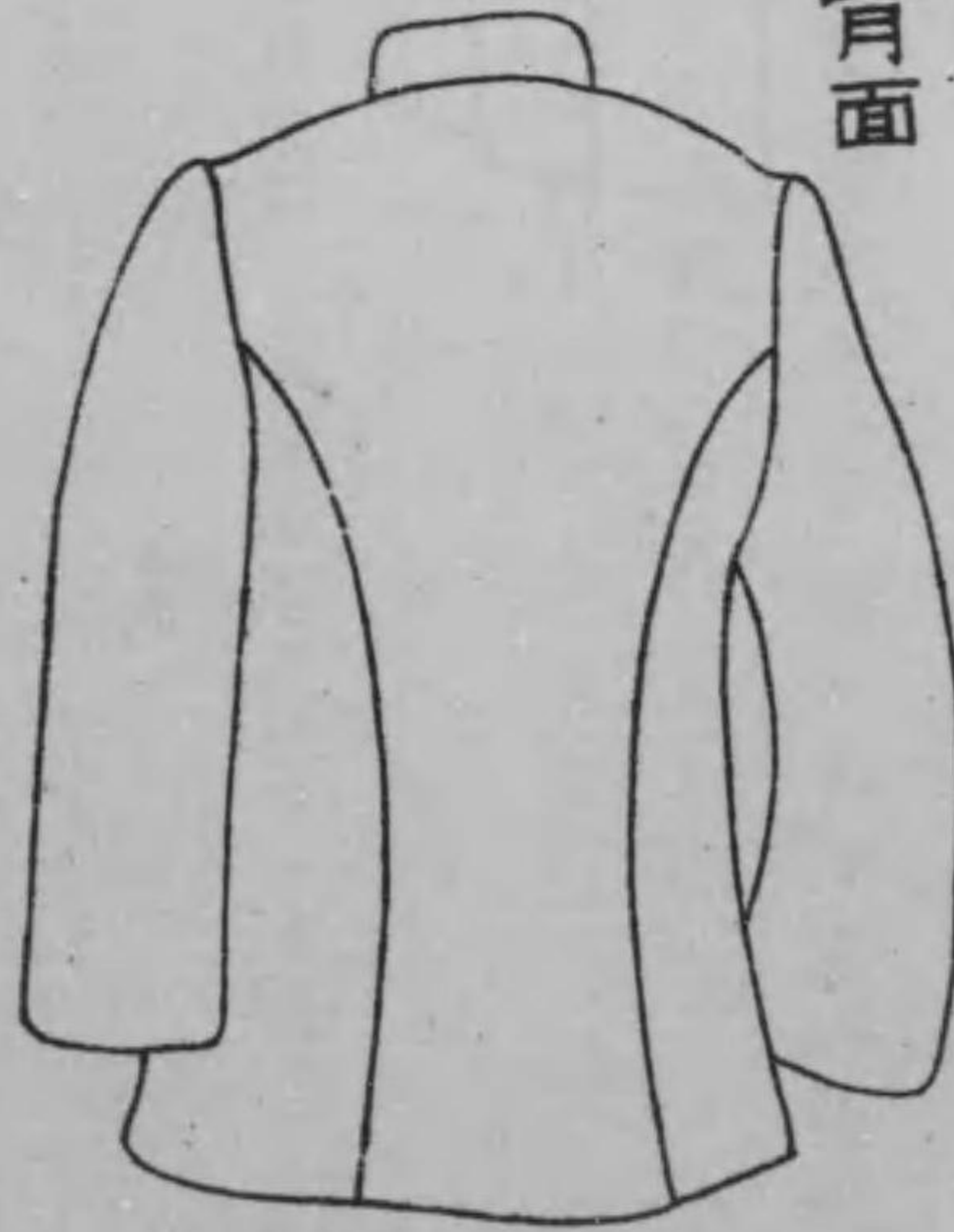
正帽



鈕



前章



衣背面



衣前面

袴  
地質  
制式

細則

靴  
如圖  
衣ニ同シ  
黑色但シ教練ノ際ハ編上靴若ハ深護謨靴ニ限  
ル教練ノ際ハ茶褐色ノ卷脚袴ヲ用フヘシ  
外套ヲ着用スル場合ハ黒又ハ黒味勝質素ノ地  
質ノモノヲ撰フヘシ

袴



第二條 制服ヲ着用スヘキ場合ハ左ノ如シ

一、本校ニ出入スルトキ、但シ寄宿生ノ舍内ニアルトキハ此限ニアラス

二、本校學生タルコトヲ表示スルトキ

三、其ノ他本校ヨリ特ニ指定シタルトキ

第三條 實習實驗等ニ従事スルトキハ所定ノ作業服ヲ着用セシムルコトアルヘシ但シ必要アル場合ニハ教練ノ際ニモ之ヲ使用セシム作業服ノ地質及制式ハ別ニ之ヲ定ム

第四條 疾病其他ノ事故ニ依リ制服ヲ着スルコト能ハサル者ハ生徒監ノ許可ヲ得テ和服ヲ着用スルコトヲ得

第五條 冬服及夏服ノ着用期間左ノ如シ

冬服 自十月一日至五月十五日

夏服 自五月十六日至九月三十日 但シ第一學年生ハ五月一日ヨリ之ヲ着用スルコトヲ得

細則

第六條 夏服着用期間ハ略帽(麥藁)帶布黒無地織、前章正帽ノ場合ニ同シヲ用ユルコトヲ得

第七條 學生外出スルトキハ制服又ハ袴及制帽ヲ着用スヘシ

第八條 新入學生ハ五月一日マテニ制服ヲ調製着用スヘシ

第九條 選科生ニハ本規程ヲ準用ス但シ衣ニ襟章ヲ附セサルモノトス

附則

一、本規程ハ大正十四年九月十一日ヨリ之ヲ施行ス

二、本規程施行期日以前ノ入學者ハ左ノ事項ヲ除キ舊規程ニ依ルコトヲ得

イ、靴及卷脚袴ハ本規程ニ依ル

ロ、冬服ハ大正十四年度入學者ヨリ本規程ニ依ル

六、寄宿舎規程

第一條 寄宿舎ハ本校學生ヲ寄宿セシムル所トス

第二條 學生入舎ノ際ハ保證人連署ノ上入舎願ヲ學校長ニ差出スヘシ

第三條 舎生ハ猥リニ退舎スルコトヲ得ス但シ已ムヲ得サル事由ニ依リ退舎セントスル者ハ其ノ事由ヲ詳記シ保證人連署ノ上生徒監ヲ經テ學校長ニ願出ツヘシ疾病ニ因ルモノハ學校醫ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第四條 寄宿舎ニ委員六名、室總代若干名ヲ置ク委員ハ舎生ノ互選ニ依ル候補者中ニ就キ學校長之ヲ命シ室總代ハ室員ノ互選ニ依リ生徒監之ヲ命ス

委員及室總代ノ任期ハ一學期間トス

第五條 委員ハ生徒監及學生課員ノ指揮ヲ承ケ舎内一般ノ風紀衛生

及會計炊事等ノ事ニ當リ兼テ命令其ノ他ノ事項ヲ傳達スルコトヲ掌ル

第六條 室總代ハ室内整理ノ責ニ任シ兼テ室員ヲ代表ス

第七條 各室員ノ配當ハ生徒監之ヲ定ム

第八條 舍内日課時限ハ學校長ノ許可ヲ受ケ生徒監之ヲ定ム

第九條 起床、就褥、喫飯及人員點檢ノ時刻等ハ振鈴、喇叭又ハ半鐘ヲ以テ之ヲ報ス

第十條 舍内ニアリテハ靜肅ヲ守リ他人ノ勉學及安眠等ヲ妨害スル所爲アルヘカラス

第十一條 常ニ室内外ノ清潔整頓ニ努メ舍内ニ於テ苟モ不潔汚穢ノコトナキ様留意スヘシ

第十二條 常ニ火氣ノ取扱ニ注意シ決シテ危險ノ所爲アルヘカラス

第十三條 室内備付ノ器具ハ猥リニ所定ノ位置ヲ變ヘ又ハ模様更ヘ

ヲ爲スヘカラス

第十四條 修業上必要ノ書類及物品ノ外ハ生徒監ノ許可ヲ得ルニアラサレハ携帯スルコトヲ得ス

第十五條 荷物ヲ門外ニ持チ出サントスルトキハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第十六條 舍内ノ物品ヲ毀損又ハ亡失シタルトキハ之ヲ辨償セシム若シ毀損者亡失者判明セサルトキハ舍内又ハ室内一同ノ者ヲシテ之ヲ辨償セシムルコトアルヘシ

第十七條 舍内ニ於テハ上草履又ハスリツバノ外用フヘカラス

第十八條 火災其ノ他非常ノ事變アル場合ニハ舍生一同協力シ生徒監及職員ノ指揮命令ニ從ヒ危害ノ防止ニ盡力スヘシ

第十九條 疾病ニ罹リタル者又ハ金錢物品ヲ紛失シタル者アルトキハ速ニ本人又ハ室總代ヨリ其ノ旨學生課ニ届出ツヘシ



第二十條 舍内ニ談話室、圖書室、會議室及娛樂室等ヲ設ケ別ニ定ムル所ニ依リ之ヲ使用セシム

第二十一條 食堂ニハ定時ノ外猥リニ出入スヘカラス若シ定時外喫飯ヲ要スル者ハ學生課ノ許可ヲ受クヘシ

第二十二條 定時間外若シ入浴ノ必要アルトキハ豫メ學生課ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス

第二十三條 外來人ニ面會スルトキハ必ス應接室ニ於テスヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ學生課ノ許可ヲ受ケ其ノ他ノ室ニ於テ面會スルコトヲ得

第二十四條 人員點檢ノ際ハ所定ノ場所ニ於テ生徒監又ハ學生課員ノ點呼ニ應スヘシ但シ病氣其ノ他ノ事故ニ依リ點檢ヲ受クルコト能ハサル者ハ其ノ旨豫メ届出ツヘシ

第二十五條 止ムヲ得サル事情ニ依リ所定ノ時限外ニ外出セントス

ルトキハ豫メ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ

第二十六條 疾病ノ爲メ缺席、缺課シタル場合ハ其ノ當日ハ外出スルコトヲ得ス但シ生徒監ノ許可ヲ得タル者ハ此限ニアラス

第二十七條 外出中止ムヲ得サル事故ニ依リ歸舍時限ニ遅レタルトキハ其ノ事由ヲ詳記シ翌日中ニ届出ツヘシ

第二十八條 止ムヲ得サル事情ニヨリ外泊又ハ旅行セントスルトキハ豫メ其ノ事由、日數及外泊先又ハ旅行先ヲ記シ生徒監ノ許可ヲ受クヘシ其ノ歸舍ノ際ハ宿所先ノ證明書ヲ差出スコトヲ要ス

外出中俄ニ外泊スルノ必要ヲ生シ前項ノ手續ヲ履ム能ハサルトキハ當日歸舍時限マテニ其ノ事由ト居所トヲ届出テ歸舍ノ際宿泊先ノ證明書ヲ差出スヘシ

第二十九條 疾病ニ罹リタル者ハ校醫ノ診斷ニ依リ病室ニ於テ治療ヲ受ケンメ重病、傳染病若ハ全治ニ日數ヲ要スルトキハ期間ヲ定メ

入院又ハ外泊セシムルコトアルヘシ

第三十條 食費及諸雜費ハ指定ノ日ニ必ス之ヲ支拂フヘシ

七、寄宿料規程

第一條 本校寄宿舎ニ入舎スル者ハ寄宿料ヲ納付スヘシ但シ特待生ニハ之ヲ免除ス

第二條 寄宿料ハ一箇年金拾壹圓トス

第三條 寄宿料ハ一箇年ヲ左ノ三期ニ分チ之ヲ徵收ス

第一期 自四月 至八月 金四圓

第二期 自九月 至十二月 金四圓

第三期 自一月 至三月 金參圓

第四條 寄宿料ハ第一期ハ四月十一日ヨリ同十五日マテ第二期ハ九月十一日ヨリ同十五日マテ第三期ハ一月十一日ヨリ同十五日マテ

ニ本校會計課ヘ納付スヘシ

第五條 半途入舎スル者ハ其ノ期ノ寄宿料ヲ一箇月金壹圓トシ月割ヲ以テ入舎ノ日ヨリ五日以内ニ納付スヘシ

前項ニ依リ算出シタル全額其ノ期ノ金額ヨリ多キトキハ其ノ期ノ全額トス

第六條 寄宿料徵收期日以前ニ退舎スルモノハ一箇月金壹圓ノ月割ヲ以テ即時納付スヘシ

第七條 一旦納付シタル寄宿料ハ半途退舎スルト雖之ヲ返付セス

第八條 寄宿料ヲ期限内ニ納付セサルトキハ本人ニ催告シ尙納付ヲ怠ル者ハ本校規則第二十八條ニ準シ處分ス

八、授業料徵收規程

第一條 授業料ハ左ノ期間内ニ之ヲ徵收ス

第一期 四月十一日ヨリ同十五日マテ

第二期 九月十一日ヨリ同十五日マテ

第三期 一月十一日ヨリ同十五日マテ

第二條 本校規則第五十條第二項第五十一條ノ規定ニ該當スルモノハ其ノ事項發生ノ日ヨリ五日以内ニ授業料ヲ納付スヘシ

第三條 授業料ヲ徵收期限マテニ納付セサルトキハ之ヲ催告シ催告後尙怠納五日以上ニ互ル者ハ其ノ出席ヲ停止ス但シ特別ノ事情ニ依リ會計課ノ許可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四條 實驗實習費ヲ徵收スルトキハ別ニ其ノ金額及徵收日ヲ告示ス

第二條及第三條ノ規定ハ實驗實習費ニ關シ之ヲ準用ス

### 九、通學生規程

第一條 通學生ハ本校ニ於テ適當ト認ムル宿所ニ寄宿スヘキモノトス

第二條 通學生其ノ宿所ヲ定メントスルトキハ豫メ宿所願ヲ差出生徒監ノ認可ヲ受クヘシ宿所變更ノ場合亦同シ

宿所願記載事項ニ變更ヲ生シタル場合ハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ  
第三條 通學生ハ本校學生二名以上同宿スヘシ但シ父兄其ノ他尊屬ノ居所ヨリ通學スル者又ハ止ムヲ得サル事情アル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 通學生ノ宿所ニシテ不適當ナリト認ムルモノアルトキハ日ヲ限リ之ヲ變更セシムヘシ

第五條 通學生ハ本校所定ノ標札ニ姓名ヲ記載シ之ヲ宿所ノ門戸ニ掲クヘシ但シ本校ノ學籍ヲ脱シタルトキ又ハ休學中ノ者ニシテ學校所在地ヲ去ラントスルトキハ直ニ標札ヲ學生課ニ返付スヘシ

第六條 通學生ニシテ旅行、外泊又ハ歸省一週間以上ニ亘ルトキハ其ノ事由ヲ具シ豫メ學生課へ届出ツヘシ

第七條 通學生ノ宿所ハ本校職員隨時之ヲ點檢スヘシ

一〇、非常警備及手配規程

第一 警備

第一條 暖爐又ハ火鉢使用中ハ巡視及小使時々各室ヲ巡視シ火氣ノ疎漏ナキ様注意スヘシ

學生控所又ハ一時授業ヲ爲ササル教室等ハ特ニ毎時間授業開始後十分以内ニ之ヲ巡視スヘシ

第二條 終業又ハ退廳ノ際ハ小使直ニ暖爐火鉢等ノ殘火ヲ取除キ火氣全ク去リタル後叮嚀ニ之ヲ掃除スヘシ暖爐又ハ火鉢使用中ハ職員退廳ノ際巡視又ハ小使ニ其ノ旨ヲ告ケ退出スヘシ

第三條 寄宿舍ニ於テハ學生不在中、小使時々各室ヲ巡視シ火氣ヲ警戒スヘシ

寄宿舍生ハ始業、就寢又ハ外出十分前各自使用ノ火鉢ヲ火氣ノ疎漏ナキ様室外廊下ニ出シ小使ハ直ニ其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第四條 炊事場及風呂場ニ於テハ火夫及炊夫常ニ火氣ヲ警戒シ用火後ハ能ク其ノ殘火ヲ取除クヘシ

第五條 火氣及焚灰等取除キ及運搬ノ際ハ疎漏ナキ様能ク注意シ取除キタル火氣及焚灰等ハ一定ノ場所ニ持チ行キ充分之ヲ始末スヘシ

第六條 小使、火夫及炊夫ハ火氣、焚灰等ヲ取除キ其ノ始末ヲ終リタルトキハ直ニ之ヲ宿直員ニ報告スヘシ

宿直員前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ巡視寄宿舍ニ在リテハ小使ト共ニ之ヲ臨檢シ萬一ニモ過失ナキ様注意スヘシ

第七條 室ノ出入口ニ鎖鑰ヲ施ス必要アルモノハ火氣ヲ取除キタル後二時間ヲ經過シ二回以上點檢シタル上之ヲ施スヘシ

第八條 夜間ハ宿直員一回以上及巡視二回以上各建物ノ内外ヲ巡視シ萬事警衛ノ任ニ當ルヘキハ勿論巡視ノ際特ニ火氣ニ注意スヘシ寄宿舎ニ在リテハ舍生就寢一時間後火夫又ハ小使一回以上舍内ヲ巡視スヘシ

第九條 構内ニ在リテハ特定ノ場所以外ニ於テ喫煙又ハ焚火ヲ爲スヘカラス

煙草吸殻ハ必ス火鉢又ハ灰吹ニ棄入スヘシ

第十條 暖爐、火鉢、運火器等使用中ハ破損ノ箇所ナキ様常ニ注意シ若シ之ヲ發見シタルトキハ直ニ其ノ使用ヲ禁シ修理ヲ加フヘシ  
煙突ハ每週一回之ヲ掃除スヘシ

第十一條 倉庫ノ入口及窓ノ非常口ハ會計課ニ於テ時々閉鎖ヲ試ミ

其ノ完全ヲ計リ且ツ常ニ目塗用土ヲ所定ノ場所ニ備ヘ置キ臨機使用ニ差支ナキ様注意スヘシ

第十二條 職員及傭人ハ終業又ハ退廳ノ際書類、器具及機械等ハ夫々整頓シ容器アルモノハ之ニ納メ鎖鑰アルモノハ之ヲ施シ所定ノ場所ニ置キ又非常ノ場合第一ニ持退ノ要アル重要書類其ノ他貴重物品ノ容器ニハ見易キ箇所ニ「非常持退」ト朱記シタル紙片ヲ貼付シ置クヘシ

第十三條 火災警備ニ付テハ職員、學生及傭人等一同常ニ能ク注意シ苟モ災害ノ起ラサル様心掛クヘシ若シ之ニ關シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ臨機ノ措置ヲ爲シ直ニ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條 火災、風害等非常事變豫防ノ爲メ建物監守者及會計課長ハ常ニ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

實驗又ハ實習ニ火氣ヲ使用スル場合ハ擔任教官主トシテ其ノ責ヲ負ヒ警備監督ノ任ニ當ルヘシ

第十五條 火災其ノ他非常事變ノ警備ニ關シ若シ不都合ノ行爲又ハ處置ヲ認メタルトキハ建物監守者、擔任教官又ハ會計課長ハ之ニ嚴重ナル戒諭ヲ加ヘ又ハ適當ノ措置ヲ爲シ之ヲ學校長ニ報告スヘシ

第二 手配

第十六條 校内ノ失火等非常事變ノ際ハ宿直員、巡視又ハ小使其ノ他之ヲ知リタル者ハ最寄備付ノ消火器又ハ給水栓及布ホース等ヲ以テ手後レナキ様相當ノ手配ヲ爲シ同時ニ當該建物監守者、擔任教官會計課長及學校長ニ急報スヘシ

第十七條 校内ノ出火又ハ近火等ニシテ多人數ノ手配ヲ要スト認ムル場合ニハ前條ノ外警鐘及其ノ他ノ方法ヲ以テ廣ク之ヲ急報シ且ツ速ニ警察署ニ報知スヘシ

第十八條 前條ノ急報ヲ聞キタルトキハ職員及傭人一同直ニ駈付ケ上官ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部署ニ就クハシ

學生ハ寄宿舎玄關前庭ニ集合シ各掛長ノ指揮ヲ受クヘシ

第十九條 校内失火又ハ近火ニシテ延燒ノ虞アリト認ムルトキハ庶務課員又ハ宿直員ニ於テ先ツ御眞影竝勅語謄本ヲ校内安全ノ場所ニ奉遷警護シ上官ノ指揮ヲ俟ツヘシ

第二十條 火災ノ手配ヲ分チテ左ノ三掛トシ夫々分掌ノ手配ニ從事スルモノトス

(イ) 防火掛

(ロ) 運搬掛

(ハ) 警戒掛

第二十一條 各掛ノ分掌ヲ定ムルコト大要左ノ如シ

(イ) 防火掛

細則

一、校内出火ノ際ハ直ニ備付ノ消火器及唧筒ヲ使用シ専ラ消防ヲ爲スコト

二、近火ノ際ハ適宜ノ場所ニ唧筒ヲ引キ出シ延焼ノ虞アルトキハ建物ニ水ヲ注キ充分豫防ヲ爲スコト

三、防火上障害ト認ムルモノハ之ヲ撤去又ハ破壊スルコト

一、校内ノ書類、圖書、器具、機械其ノ他ノ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬スルコト

二、物品ヲ運搬スル順序ハ火元最寄ノ場所ヨリ始メ且ツ「非常持退」ト記シタル貴重品ヲ先ニシテ書類、圖書、其ノ他一般ノ物品ニ及フコト

(ハ) 警戒掛

一、學校ノ周圍ヲ警戒シ本校職員學生備人其ノ他官衙ノ職員、警

官、消防夫及常時出入ノ諸商人職工ノ外ハ入ルヲ禁止スルコト

二、出入口ニ受付所ヲ設ケ出入者ヲ監視シ且ツ駐付人氏名等ヲ書キ留メ置クコト

三、始終校内ヲ巡邏シ盜難等ヲ警戒スルコト、特ニ搬出シタル物品ニハ監視者ヲ付シ嚴重ニ取締ヲ爲スコト

四、倉庫ヲ警戒シ其ノ出入口及窓等ニ目塗ノ用意ヲ爲シ物品運搬ノ上又ハ運搬ヲ俟タス直ニ之ヲ締切ル等適宜手配ヲ爲スコト

五、夜中ニ在リテハ玄關ニ高張提灯ヲ點シ其ノ他要所ニ點燈シ又各所入口開扉ノ用意ヲ爲スコト

第二十二條 各掛ニ長ヲ置キ學校長之ヲ命ス但シ非常ノ際掛長駐付ケ得サルトキハ臨機在校職員上官ノ指揮ヲ受ケ其ノ任ニ當ルヘシ職員及備人ノ部署ハ別ニ之ヲ定ム

學生ノ部署ハ寄宿舎生ニ就キ別ニ之ヲ定ム、通學生ハ學生課長又ハ教官ノ指揮ニ從ヒ臨機適當ノ部署ニ就クモノトス

前項職員備人及學生ノ部署ハ非常ノ際臨機之ヲ變更スルコトアルヘシ

第二十三條 左ノ非常用具ハ各掛長ニ於テ能ク之ヲ整頓保管シ唧筒其ノ他ノ器類ハ時々之ヲ點檢試用シ常ニ支障ナカラシメンコトヲ要ス

- 一、唧筒
- 一、消火栓ホース及同筒先
- 一、梯子
- 一、鋸、掛矢及頭布(刺子)
- 一、高張提灯及非常用提灯
- 一、消火器
- 一、玄蕃桶
- 一、鷹口及刺股
- 一、運搬用擔架ツツク袋
- 一、蠟燭及摺附木

第二十四條 消火器ハ各建物内適當ノ場所ニ之ヲ配置スヘシ

消火器ニハ藥品充填ノ年月日及其ノ有効期間ヲ記シ有効期日ノ滿タサル前藥品ノ充填換ヲ爲スヘシ當該建物監守者及會計課員ハ時々消火器ノ効力ヲ試驗スヘシ

第二十五條 職員、學生及備人ハ平素消火器ノ所在及使用法ヲ心得置キ非常ノ場合之ヲ有効ニ使用スル様心掛クヘシ  
每學期一回以上職員、學生及備人一同火災手配ノ演習ヲ爲スヘシ但シ警鐘ヲ打チ臨時演習ヲ行フコトアルヘシ

十一、野外演習規程

第一條 体操科教練ノ一部トシテ毎年野外演習ヲ行フ

第二條 野外演習ハ特別ノ場合ヲ除キ毎年一回第二學期ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ日數ハ四日以上トス

第三條 野外演習ノ種類其ノ他實施上ノ事項ハ其ノ都度之ヲ定ム



第四條 學生ハ野外演習費トシテ第一學期金貳圓、第二學期金參圓ヲ授業料ト同時ニ會計課ニ納付スヘシ

第五條 既納ノ野外演習費ハ演習ニ缺課スルコトアルモ之ヲ返付セス但シ休學ノ爲缺課シタル場合ハ此限ニアラス

第六條 野外演習費ニ不足ヲ生スルトキハ臨時之ヲ追徴スルコトアルヘシ

第七條 野外演習費ニ剩餘ヲ生スルトキハ之ヲ次回ノ野外演習費ニ繰入レ又ハ野外演習ニ準スヘキ事業若ハ生徒全般ニ關スル緊切ナル事業ノ費用ニ充ツルコトアルヘシ

第八條 野外演習費ノ納付ニ關シテハ本校規則第五十條第一項第五十二條及第五十三條ノ規定ヲ準用ス

附則

一、本規程ハ大正十四年度ヨリ之ヲ施行ス

二、大正十四年度第一學期分ノ野外演習費ハ本規程發布後二週間以内ニ會計課ヘ納付スヘシ

第六 職員

學校長

正五位勳四等 上原種美 東京

教授

(兼) 學 檢 長 上原種美

修身

正六位 增淵次助 山形

作物學、育種學

正六位 伊藤武夫 新潟

森林學、水及砂防工學

正六位 高橋隆道 熊本

(在外研究中)

職員

修身、英語、獨逸語

養蠶學、動物學、實驗遺傳學

(在外研究中)

農業工學、農業水利學、耕地整理論

物理學、氣象學、數學

森林利用學、森林工學、數學

森林經理學、造林學

畜產學、獸醫學

園藝學

農業機械學、測量學

應用力學、材料及施工法、道路及橋梁學

化學及分析、土壤學

農業經營學、農政學、植民政策

生徒監

從文學六士位

岡言智 山梨

從農學博士農學士

宇田一 福島

從林學士法學士

川田繁治郎 奈良

從農學六士位

森澤省己 新潟

生徒監

正理學七士位

北川久五郎 北海道

正陸軍歩兵少尉林學士

關谷文彦 東京

正林學七士位

山本光政 石川

正農學七士位

江頭常藏 北海道

正農學七士位

丹羽鼎三 宮城

陸軍歩兵少尉農學士

正河合隼人 富山

正工學七士位

松田俊正 鹿兒島

正農學七士位

稻川次郎 岐阜

生徒監

從農學七士位

中野清作 石川

助教

養蠶學、昆蟲學

園藝學、園藝實習

應用水利學、測量實習

測量實習、數學

原動機、揚水機、數學

測量實習、測樹學

造林學實習、森林動物學

農産製造學、化學

講師

地質學

農場實習、作物學

礦物學、地質學

職員

(兼)

書記

篠田平三郎

園藝得業士

宮入武雄 東京

工學得業士

近坂百一 三重

工學得業士

緒方猛 福岡

工學得業士

内海市次郎 京都

林學得業士

野知里慶助 長野

陸軍歩兵少尉林學得業士

馬岡隆清 三重

農藝化學得業士

長瀬重藏 三重

正五位勳五等農學博士農學士

恒藤規隆 東京

從六位

香月喜六 佐賀

從七位

矢作菊藏 東京

職員

植物學、植物病理學  
 農學大意、植物病理學  
 體操  
 土壤學、肥料學  
 行政法大意、經濟學  
 法學通論、財政學  
 教育學  
 獨乙語、修身  
 林政學、森林法規  
 昆蟲學  
 農業經營學

一〇陸

農學士 藤岡孟彦 東京  
 正七位 福井武治 京畿  
 陸軍工兵少佐 米倉嘉彌 三重  
 正六位勳五等功五級 田口武之助 埼玉  
 正七位 島宗一 新潟  
 安濃津地方裁判所判事 兼松正勝 愛知  
 從六位法學士 富山智海 三重  
 安濃津區裁判所檢事 加藤行信 三重  
 正七位法學士 齋部一郎 和歌山  
 文 學 士 春川忠吉 新潟  
 東京帝國大學教授 太槻正男 宮城  
 農學博士 農學博士 京都帝國大學助教授  
 農學博士 篠田平三郎 新潟

庶務課

課長

書記

篠田平三郎

新潟

會計課

課長

物品會計官吏出納官吏

(兼) 囑託 福井武治  
 (兼) 書記 小野春次  
 (兼) 書記 廣岡順三  
 雇七等 增井幸次郎 三重

教務課

課長

教授 北川久五郎  
 書記 廣岡順三 三重

職員

一〇五

書記 池田松太郎 奈良  
 書記 小野春次 山梨  
 書記 藤原佐之吉 兵庫  
 雇七等 近藤米三郎 三重  
 雇 牧戸寛一 三重

職員

一〇六

學生課

課長

大村幸男 三重

生徒監 岡言智

生徒監 北川久五郎

生徒監 中野清作

講師 米倉嘉弼

囑託 田中宗三郎

重倉龜太郎 三重

圖書課

課長

教授 關谷文彦

圖書八等記 藤枝儁一 三重

雇 稻葉一郎 三重

學科主事

農學科主事

教授 增淵次助

農業土木學科主事

教授 森澤省己

林學科主事

教授 伊藤武夫

農場長

農場長心得

講師 香月喜六

助手

農學科勤務

大山仙次 福島

物理學勤務

丸山増次郎 三重

化學勤務

內藤秀男 三重

植物學勤務

増川茂 三重

農場勤務

清水敦 山梨

農業土木學科勤務

北田隆一 三重

農場勤務

片岡武造 三重

職員

一〇七

職員

圖工

林學科勤務

農學科勤務

同

林學科勤務

同

農業土木學科勤務

同

囑託

體操

體操科諸技

柔道教師

劍道教師

陸軍歩兵特務曹長  
勳七等

一〇八

坂口 武 長野

杉浦 文夫 愛知

米倉 豊吉 鹿兒島

貞永 三郎 知

小林 義秀 山梨

林 鎮雄 愛知

鈴木 重男 三重

伊藤 實 三重

田中 宗三郎 三重

齊 辰雄 徳島

公文 盛義 高知

宮崎 茂三郎 三重

配屬將校

教練

陸軍歩兵少佐  
正六位 勳五等

小泉 新治 福島

校 醫

從五位  
勳四等位

朝岡 龍太郎

三重縣衛生技師  
正七位

小芝 一雄

第七 學生

一、學生氏名 (五十音順)

農學科第三學年

井上 善光 奈良 出射 正次 岡山 上田 勇 大阪

岡垣内 匠 和歌山 小川 亮一 栃木 荻野 周次 兵庫

小田 志郎 三重 奥井 亮三郎 三重 菊地 金次 岩手

學生

一〇九

菊池武夫	岩手	黑田俊吉	靜岡	佐野淡一	兵庫
澤川繁山	山形	島貫三郎	山形	相馬世治	京都
高木秀一	宮崎	田中松夫	岐阜	寺林傳太郎	富山
富永重興	三重	中村龍樹	福岡	沼田滿英	茨城
野澤磊爾	愛知	馬場四郎	福島	長谷川德	愛知
濱田朝祐	埼玉	平沼延一	岐阜	松本直一	滋賀
前野軍太	三重	峰長藏	和歌山	森井儀一	三重
森本庫一	兵庫	森本修三	愛知	山口明宮	崎
山崎賢一	和歌山	山田駒雄	山梨	山口明宮	崎
淺井晃	京都	石淵壽熊	本	一色一雄	滋賀
伊藤六郎	愛知	井原稔	和歌山	伊元貞三郎	島根
岩田玉一	岐阜	岡村庄一郎	兵庫	大塚耕二	三重

農學科第二學年

大林廣次	靜岡	工藤醇一郎	青森	後藤智	大分
近藤亮一	愛媛	佐藤須賀夫	大分	澁井建一	福島
白石太郎	愛媛	杉山猶之助	三重	須永達雄	栃木
田中稔	山形	谷畑喜作	富山	王澄海三	和歌山
柘植利久	三重	鳥羽篤郎	三重	中川勝八	愛知
永山教一	高知	野崎清夫	岡山	長谷川千秋	愛知
春名一明	兵庫	藤岡喜久	奈良	米田健吉	兵庫

農學科第一學年

足立昇造	三重	五百井亨	大阪	上田郁三	滋賀
大熊忠二	岡山	大西保英	愛媛	川島治幸	大阪
川島三美	三重	川邊稔	三重	北川孝治郎	京都
北村信孝	高知	木村虎雄	和歌山	久保常三	奈良
小瀨村忠雄	神奈川	小林勝治	兵庫	小林龍雄	長野

學生

齋藤修三 岐阜

篠岡己三 岡山

信部初男 兵庫

清水幹雄 山口

杉浦資良 愛知

杉谷文之 富山

田曾純吾 廣島

大橋友二 富山

西端善作 大阪

野上富士夫 京都

野上芳市 島根

八田植滋 賀

服部仙三 愛知

樋口節雄 大分

深井寛三 重

藤田正雄 廣島

三上福之助 埼玉

水島仁平 兵庫

森濱重義 三重

柳瀬義術 高知

山内勇信 福島

山本忠夫 神奈川

吉川正信 京都

農業土木學科第三學年

有吉志良 福岡

伊藤又一 福井

岩下次男 熊本

小川征二 宮城

尾崎孝雄 愛知

川本貴雄 三重

工藤延雄 岐阜

川口襄三郎 三重

加茂仁三郎 靜岡

倉小三郎 北海道

齋藤辰雄 愛知

櫻井實宮 崎

堤喬司 兵庫

出水千代義 香川

西村正一 富山

橋都武二 長野

長谷武雄 三重

服部榮三郎 三重

濱本良造 京都

藤井芳雄 山口

藤村忠雄 山口

古市與一 三重

星野豊平 香川

堀内正利 福岡

堀美也雄 岐阜

森山明 東京

山崎爲夫 愛知

渡邊小太 三重

若出由夫 三重

農業土木學科第二學年

阿部春太郎 三重

稻垣茂三 重

石川常雄 山梨

上島克己 三重

榎本松三郎 東京

岡本福三 石川

奥田一郎 石川

織田村師郎 山口

大塚清司 靜岡

大西多一 德島

大西正康 高知

柏井益水 高知

川合光夫 三重

北川俊次 三重

小宮山清藏 山梨

小山桂一 愛知

板本敏夫 三重

佐藤紫郎 山形

學生

一一三

一一三

芝田三男三重	仙波漸受媛	辻原昌男三重
土井利一富山	土井牧夫長崎	中田政武三重
中森悌二滋賀	永原實郎三重	西田吾一岐阜
西正夫三重	二平武次茨城	早瀬己之石川
廣田延太郎三重	福本一二鹿兒島	藤橋九市滋賀
藤本和夫三重	古屋貢長崎	松浦圭三大阪
松村寬高知	宮下功長野	森賀年秋愛媛
山下鎌一郎廣島	横山重義福島	芳山久夫愛知
若林郷夫三重		

農業土木學科第一學年

池田誠常石川	池田義雄靜岡	伊藤繁雄三重
石田光平大阪	海野宗一三重	岡本義信香川
大島精一北海道	貝増利雄三重	川原田一郎三重

北村壽男三重	久保庄五郎滋賀	小島萬之丞福島
小島平雄廣島	駒田勝三重	佐倉敏夫三重
佐野彌之助靜岡	摺野末郎三重	鈴木正次三重
高宮卯一大阪	田中重平新潟	田村榮一東京
土橋喜路福井	外岡敏雄靜岡	土肥尙之助富山
豐田榮一三重	西井雅一三重	藤原實三重
野口正一德島	増野政雄山口	松尾武記長崎
宮ヶ原普鹿兒島	安永治郎福岡	山口四郎群馬
山村十木生三重	山本義三郎兵庫	山本棄男三重
渡邊國男香川		

林學科第三學年

穴吹規矩士香川	岩本二郎島根	石川利治東京
井出稅靜岡	岡田廣一德島	岡野行雄和歌山



鴛淵滿雄長崎	川越進宮崎	神庭英島根
木曾龍雄廣島	木下義統鳥取	佐々木確治秋田
曾根正孝富山	武田要德島	辰巳俊吉奈良
附田文治青森	內藤久一京都	長尾正和高知
中村當一香川	中山利郎三重	林茂福井
原金一岐阜	久富運吉山口	深澤正男山梨
福田港熊本	逸見雪夫岡山	本田親人宮崎
松田愿山口	松本幸男愛媛	柳井元一岡山
矢野登香川	山本二雄奈良	吉本今太郎靜岡
安達瀧雄石川	伊藤照光愛媛	岩山宇內宮城
梅原文夫大分	大里喜重大阪	越知一吉愛媛
鬼武幹亮山口	垣野太圭次郎三重	片山佐又香川

林學科第二學年

加藤嘉藏奈良	草田得三和歌山	國田廣實愛媛
齋藤市三三重	三枝壽雄兵庫	砂走正義鹿兒島
田中巖京都	田部繁昌東京	谷口貢福井
因秀成福岡	和田忠之亮三重	中澤和雄和歌山
中谷喜久二郎石川	濱田一夫高知	福島昇福井
松原松男長野	萬濃秀男三重	溝口佛次長野
森倉良溢三重	森岡潤吉高知	森本寬一奈良
山川浩太郎三重	湯淺巖雄香川	

林學科第一學年

伊井光二富山	飯田忠一奈良	井上源憲廣島
井ノ口三郎三重	臼井茂山形	內山忠男三重
小穴信一長野	岡田己一三重	大久保昌之石川
川滿惠元沖繩	黒岩實佐賀	黒井良勝東京

學生

一一八

小久保壽愛知	小龍武夫福島	小西浩京都
後藤旭愛知	後藤網愛知	佐藤三郎秋田
蘆川三二福岡	莊司稔夫三重	白勢修新潟
高橋渡高知	田代純兵庫	立川全夫静岡
田村義雄三重	中尾二郎三重	中川重男京都
馬場瑞穂福岡	福田茂穂岡山	松島盛大三重
三達雲平三重	滿谷五三岡山	宮林保岡山
村上章愛知	百永俊一三重	森田宿禰長崎
山本市兵衛奈良		
農學科選科		
別處初幸愛媛	野村安衛岐阜	今井武三重
花谷郁三重		
農業土木學科選科		

石田 巖三重 小林、俊夫 福井 渡邊重治 北海道

日野雅亮 長野

二、學生數

學科	本 科			選科生	研究生	合 計
	第一學年	第二學年	第三學年			
農學科	三八	三〇	三五	四		一〇七
農業土木學科	三七	四三	二九	三	一	一一三
林學科	三七	三三	三三	一		一〇三
總計	一一二	一〇五	九七	八	一	三二三

三、地方別學生數

道府縣	本 科			選科生	研究生	合 計
	農學科	農業土木學科	林學科			
北海道		二				二
青森	一		一			二

學生

一一九

島根	鳥取	和歌山	奈良	兵庫	大阪	京都	滋賀	三重	愛知	靜岡	岐阜	長野	山梨	福井
二		六	三	九	四	五	四	一四	八	二	三	一	一	
				二	三	一	三	三五	五	五	三	二	二	二
二	一	三	六	二	一	四		一六	五	二	一	四	一	三
四	一	九	九	一三	八	一〇	七	六五	一八	九	七	七	四	五
								三			一	一		一
四	一	九	九	一三	八	一〇	七	六八	一八	九	八	八	四	六

石川	富山	新潟	神奈川	東京	千葉	埼玉	群馬	栃木	茨城	福島	山形	秋田	宮城	岩手
	四		二	一		二		二	一	三	三			二
四	三	一		三		一		一	二	一			一	
三	二	一		三						一	一	二	二	
七	九	二	二	七		二	一	二	二	六	五	二	三	二
七	九	二	二	七		二	一	二	二	六	五	二	三	二

沖繩	鹿兒島	宮崎	大分	熊本	長崎	佐賀	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	山口	廣島	岡山
		二	三	一			一	三	三			一	二	四
	二	一		一	三		三	三	二	四	二	四	二	
一	一	一	一	一	一	一	三	四	四	五	二	三	二	五
一	三	四	四	三	四	一	七	一〇	九	九	四	八	六	九
									一					
											一			
一	三	四	四	三	四	一	七	一〇	一〇	九	五	八	六	九

總計	一〇三	一〇九	一〇二	三一四	八	一	三三三
----	-----	-----	-----	-----	---	---	-----

第八 卒業者 (五十音順)

農學科第一回 (大正十四年三月卒業) 二十八名

大分縣杵築中學校教諭	足立 俊正	愛知	三重縣立松阪商業學校教諭	齋藤 武夫	山形
三重縣立飯南農學校教諭	井出 高義	靜岡	三重高等農林學校助手	貞永 三郎	山口
三重高等農林學校助手	岩名 孝太	新潟	三重縣立飯南農學校教諭	志村 浩一	埼玉
愛知縣津島高等女學校教諭	大柿 護	北海道	大阪府立牛野中學校教諭	鈴木 橋雄	三重
三市縣立名賀農學校教諭	大塚 俊司	靜岡	千葉縣立多古農學校教諭	鈴木 良次	新潟
三重縣立度會農學校教諭	奧井英太郎	三重	東京國學院大學學生	宗宮 祐夫	岐阜
新潟縣立栃尾農商學校教諭	折谷 陽雄	富山	農林省農務局副業課	中西 三郎	三重
三重縣立農業補習學校教員	桑垣 傳護	千葉	岡山煙草專賣局技手	中森 作雄	三重
養成所助手	小林 梧郎	新潟	靜岡縣濱松師範學校教員	野呂 貞好	三重
新潟縣立新發田農學校教諭					

三重縣立鈴鹿農學校教諭 羽生 節 鹿見島 自 營 正木 郁三 大阪  
 京都帝國大學農學部學生 平山 重勝 愛知 三重縣農會技手 松浦 幸也 三重  
 南米ブラジ、ルサンパウロ州 セントラルリンハ、ダンパテ 深川 景吉 滋賀 富山縣立永見高等女學校教諭 水越 弘 三重  
 德島煙草專賣局技手 堀田 耕太 三重 岡山縣山本農學校教諭 村田 三郎 山口  
 三重縣立農事試驗場技手 堀 五一 三重 農林省農務局農產課 山本辰次郎 石川

農業土木學科第一回 (大正十四年) 三月卒業 二十八名

山口縣萩中學校教諭 岩本 益雄 愛媛 千葉縣立旭農學校教諭 小山 操雄 兵庫  
 三重縣立河藝高等女學校教諭 遠藤 靖 宮城 朝鮮咸興農學校教諭 酒井鉦一郎 愛知  
 石川縣耕地整理課技手 奥田 壽夫 三重 東洋拓殖株式會社里裡支店 清水 武雄 香川  
 東京復興局 川合 久三 滋賀 群馬縣立中條農學校教諭 鈴木 武臣 德島  
 神奈川縣立農蠶學校教諭 川勝 洋三 京都 山口縣土木課技手 高倉貫一郎 三重  
 東京復興局 刑部 精一 三重 朝鮮總督府殖産局 多賀 正三 滋賀  
 東洋拓殖株式會社京城支店 古賀 菊次 山口 橫濱市土木局技手 田上源八郎 三重

大阪府農林技手

田原 耕三 三重 東洋拓殖株式會社京城支局 牧野 潤二 山形  
 三重高等農林學校囑託 齋 辰雄 德島 三重縣土木課技手 松尾 直三 三重  
 東洋拓殖株式會社京城支店 中島 辰 愛知 朝鮮全州農學校教諭 松本 貞一 三重  
 長野縣耕地整理課技手 林 桂 岐阜 長野縣上高井農學校教諭 嶺 滿龜 福岡  
 靜岡縣中泉農學校教諭 東川 美雄 三重 京都帝國大學農林工學科學生 森 嘉門 三重  
 新潟縣耕地整理課技手 日比野文雄 愛知 福島縣岩瀨農學校教諭 安田 次貞 愛知  
 香川縣高松明善高等女學校 福家 雄一 香川 名古屋市外笠寺耕地整理組合 山田 長作 愛知  
 教諭

林學科第一回 (大正十四年) 三月卒業 二十三名

靜岡縣御殿場實業學校教諭 小西百太郎 奈良 愛媛縣伊方農學校教諭 佐藤 佐壽 愛媛  
 三重高等農林學校助手 小林 義秀 山梨 長野縣西部農學校教諭 四方 公平 京都  
 愛媛縣農務課技手 古屋 武夫 群馬 山梨縣山林課技手 新保 義二 石川  
 帝室林野局東京支局技手 佐賀五代吉 秋田 三重縣林務課技手 島林 理英 滋賀  
 帝室林野局名古屋支局 佐治 文哉 福井 帝室林野局木曾支局 關 正三 栃木

敷地建物

二二六

神奈川縣農林課技手	高津戸益美	栃木	秋田營林局	古谷 俊雄	東京
朝鮮總督府殖産局山林課	高山 林	兵庫	九州帝國大學林學部學生	鈎 俊一	滋賀
福島縣立會津農林學校教諭	田村幸次郎	京都	北海道拓殖部林務課技手	松井英太郎	大阪
三重縣津市伊勢新聞社	畑 石治	福岡	自營	松岡 英二	福岡
三重高等農林學校助手	林 鎮雄	東京	三重縣立農林學校教諭	三崎 龍二	三重
大阪營林局岐阜營林署	早藤 昌二	茨城	三重縣飯南郡技手	山口二三生	三重
自營	伴 一雄	三重			
東京復興局	山本三千三	三重	農業土木學科	一名	

第九 敷地建物

敷地

所 要 別	坪 數	所 在 地
校舍 敷地	一六、三二七	三重縣河內郡栗真村
實驗 農場	四七、八二九	三重縣津市上濱町
	二、四九〇	三重縣河內郡栗真村
演習 林	一、三七三、五八八	三重縣一志郡八幡村
合計	一、四四〇、二三四	

建物

種 別	構 造	棟 數	坪 數 (延坪)
本館	木造二階建	一	七七八
實驗室	木造平家建	四	六三五
講堂	同	一	一二九
圖書	木造二階建 一部分平家建	一	九〇
書庫	鐵筋コンクリート 二階建	一	四八
倉庫	煉瓦造二階建	一	五六

敷地建物

二二七

敷地建物

穀物庫	同	同	三五
農業機械室	同	一〇〇	三五
農産製造室	同	五〇	三五
林産製造室	同	三五	三五
酪農室	同	二〇	三六
餌料室	同	一	一筒
サイロ	煉瓦造	一	四一、二五
牛舎	木造平家建	一	三五、七五
馬舎	同	一	七五
堆肥舎	同	二	七五
羊舎	同	一	二〇
鶏舎	同	一	二七
豚舎	同	一	一八、七五
燻烟室	鐵筋コンクリート平家建	一	二
樹苗消毒室	同	一	二

敷地建物

武道場	木造平家建	一	八四
雨天體操場	同	一	一〇五
特別研究室	木造二階建	一	九〇
藥品庫	煉瓦造平家建	一	九
瓦斯發生室	木造平家建	一	四
電池室	同	一	三
養蠶室	木造二階建	三	一八四、四
乾繭室	木造平家建	一	八
蠶種貯藏庫	鐵筋コンクリート平家建	一	九
硝子室	煉瓦造硝子張平家建	一	八
温室	鐵骨平家建	一	四
寄宿舎及附屬建物	木造二階建 一部平家建	二二	四六五、三三三
小使室、物置、便所及渡廊下等	木造平家建	二二	二二七、四七七
農場管理室及實習室	同	一	九五
作業室及收納室	同	一	九五

作物栽培實驗室	木造平家建	一	二二
農場員詰所及便所		三	二四
モーター室	鐵筋コンクリート及木造平家建	二	三、五
官舎	木造二階建及平家建	四	一〇七
官舎物置	木造平家建	四	一七
合計			三、八二七、五〇〇

附 錄

三重高等農林學校校友會規則

- 第一條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ厚クシ智德ヲ磨キ心身ヲ練リ本校ノ校風ヲ發揚スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ三重高等農林學校校友會ト稱ス
- 第三條 本會ノ事務所ハ之ヲ三重高等農林學校内ニ設ク
- 第四條 本會ノ會員ハ左ノ四種トス
  - 一、通常會員 本校在學生
  - 二、特別會員 本校卒業生、本校修業生
  - 三、贊助會員 本校職員及本校縁故者
  - 四、名譽會員 特ニ本會ニ功勞アル人ニシテ會長ノ推薦ニ係ル者
- 第五條 本會ノ目的ヲ達セン爲メ左ノ八部ヲ置ク



- 學藝部
- 劍道部
- 柔道部
- 野球部
- 庭球部
- 水泳部
- 諸技部
- 庶務部

前項中學藝部ハ講演會談話會ノ開催及會誌編纂等ノコトヲ諸技部ハ競技弓術蹴球登山等ノコトヲ庶務部ハ庶務及會計ノコトヲ掌ル

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 會長 一名
- 副會長 一名

部長 各部一名

評議員 若干名

委員 各部若干名

必要ニ應シ各部ニ副部長ヲ置クコトヲ得

會長ハ本校校長ヲ推戴ス

副會長部長副部長評議員ハ贊助會員中ニ就キ會長之ヲ選任ス

委員ハ通常會員中ヨリ互選ニ依リ候補者ヲ定メ會長之ヲ命ス

第七條 役員ノ職務ハ左ノ如シ

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

部長ハ會長ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部ノ事務ヲ掌理ス副部長ハ部長ヲ

補佐シ部長事故アルトキハ其ノ事務ヲ代理ス

評議員ハ役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與ス

委員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ各其ノ部ノ事務ニ從事ス  
委員中役員會ニ列席シ意見ヲ述ヘ議決ニ參與スルモノハ各部三名  
トス

第八條 會長必要アリト認ムルトキハ庶務部ニ屬スル事務ヲ本校職  
員ニ囑託スルコトヲ得

第九條 副會長以下役員ノ任期ハ一箇年トシ毎年二月之ヲ選任ス  
但シ缺員ヲ生シタルトキハ隨時之ヲ選任スルコトアルヘシ此ノ場  
合ノ任期ハ前任者ノ殘任期トス

第十條 左ノ事項ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

- 一、規則及細則ノ制定改廢ニ關スル事項
- 二、豫算及決算ニ關スル事項
- 三、運動會ニ關スル事項
- 四、其ノ他會長ニ於テ重要ト認ムル事項

第十一條 役員會ハ會長之ヲ召集ス

第十二條 役員會ハ總役員ノ三分ノ二以上出席スルニアラサレハ議  
事ヲ開キ議決ヲナスコトヲ得ス

第十三條 役員會ノ議事ハ出席者ノ三分ノ二以上ノ賛成ヲ得テ之ヲ  
決ス

第十四條 本會ノ經費ハ會費寄附金及其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

- 一、通常會員ハ入會ノ際入會金トシテ金貳圓ヲ納ムルモノトス
- 二、通常會員ハ會費トシテ每學期金參圓ヲ本校授業料納付期ニ於  
テ納ムルモノトス

- 三、特別會員ハ年額會費トシテ毎年十一月金貳圓又ハ終身會費ト  
シテ一時ニ金貳拾圓ヲ納ムルモノトス但シ終身會費ハ二回ニ  
金拾圓宛分納スルコトヲ得終身會費完納ニ至ルマテハ毎年金  
貳圓ヲ納ムルモノトス但シ終身會費納入ノ年度ハ此ノ限リニ

アラス

四、在校賛助員ハ毎月月俸ノ千分ノ五ヲ出金スルモノトス  
一旦納付シタル會費ハ何等ノ事由アルモ之ヲ返付セス

第十五條 本會ノ會計年度ハ毎年四月ニ始マリ翌年三月ニ終ル

第十六條 本會ノ歳入歳出ノ決算ハ次年度ノ始メニ於テ之ヲ報告ス

第十七條 會員ニシテ不都合ノ行爲アリタリト認ムル者ハ役員會ノ

議決ニヨリ除名スルコトアルヘシ

第十八條 本會ニ基本金ヲ置ク基本金ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第十九條 本則施行ニ關スル細則ハ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

但各部ニ關スル細則ハ會長ノ認可ヲ受ケ部長之ヲ定ムルコトヲ得

附 則

第十四條第一項第三項ノ改正ハ大正十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十五年三月一日印刷  
大正十五年三月五日發行

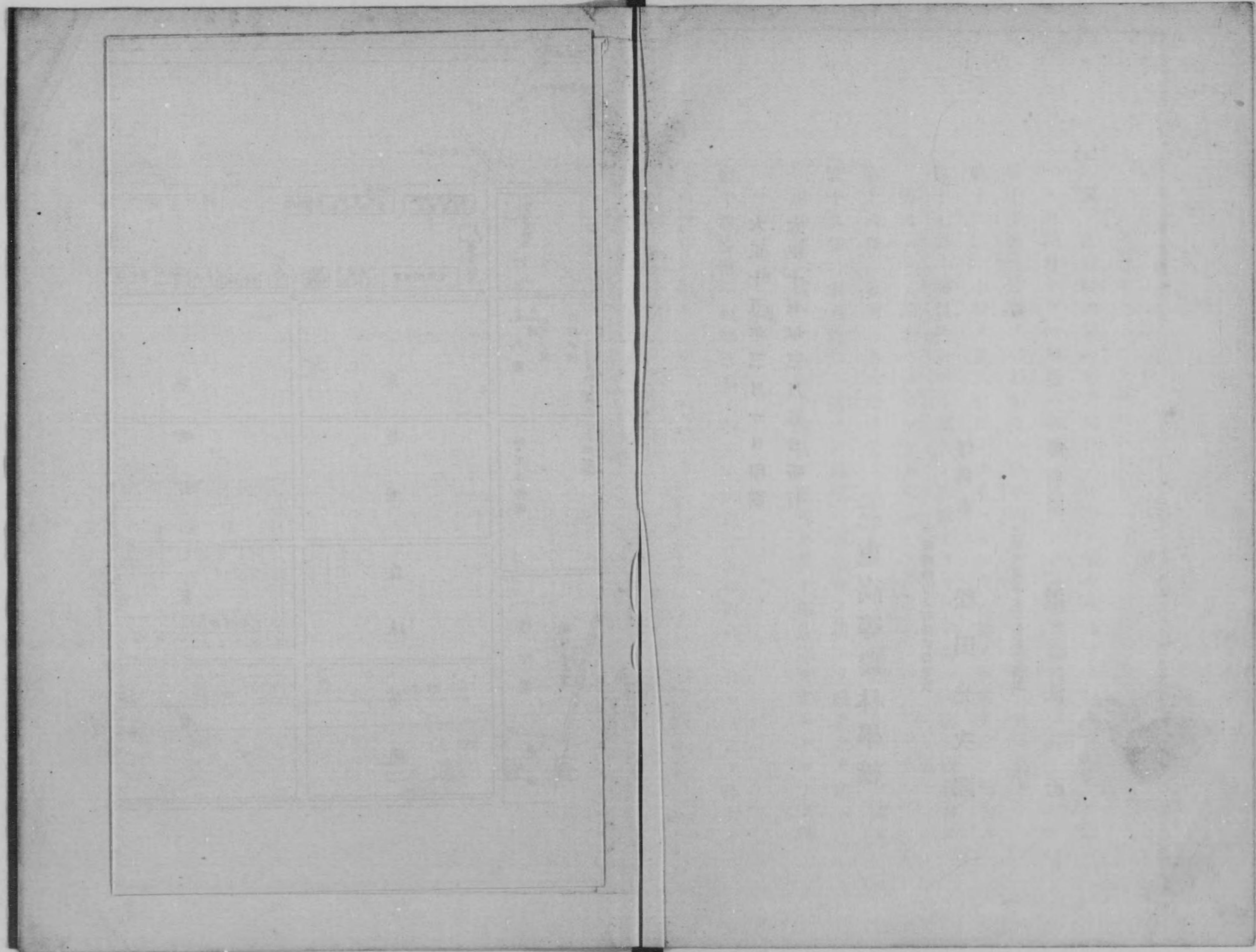
三重高等農林學校

三重縣津市北町拾貳番屋敷

印刷者 松田光次郎

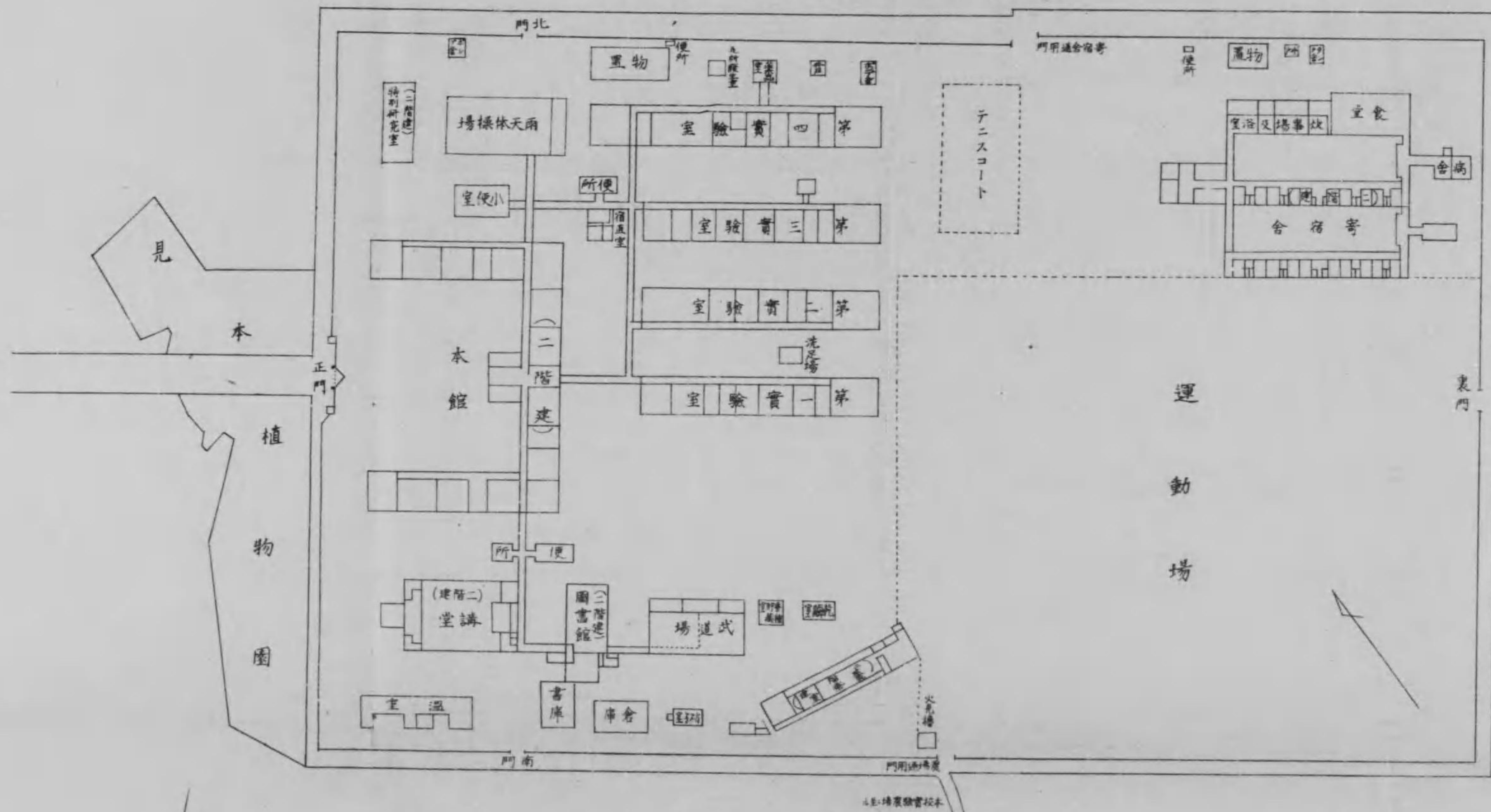
三重縣津市北町拾貳番屋敷

印刷所 遵法社

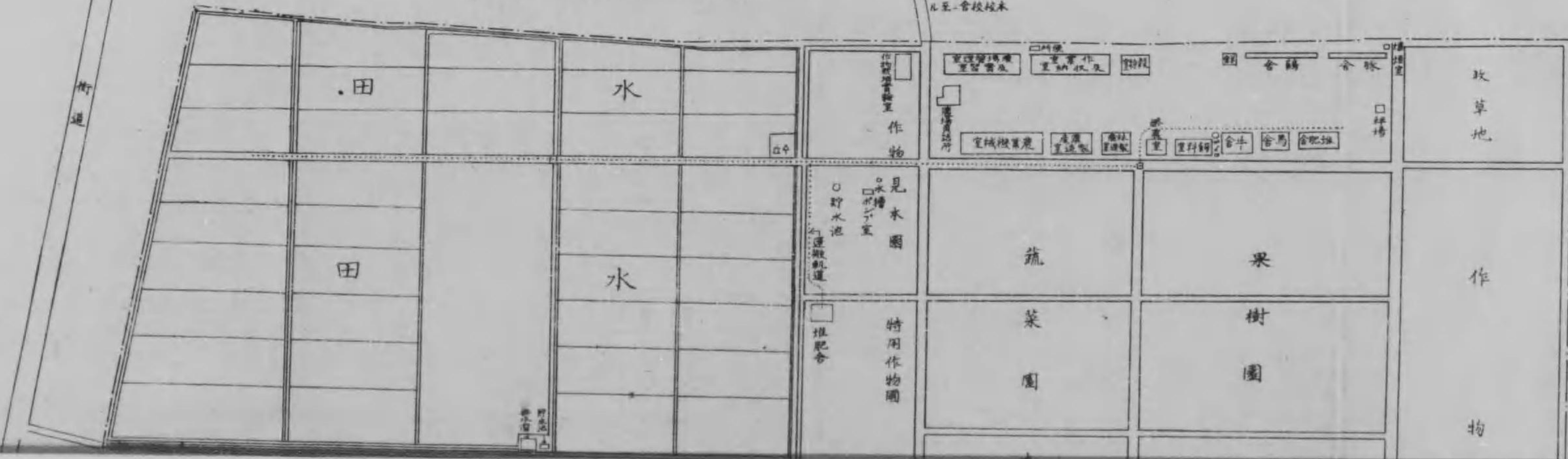


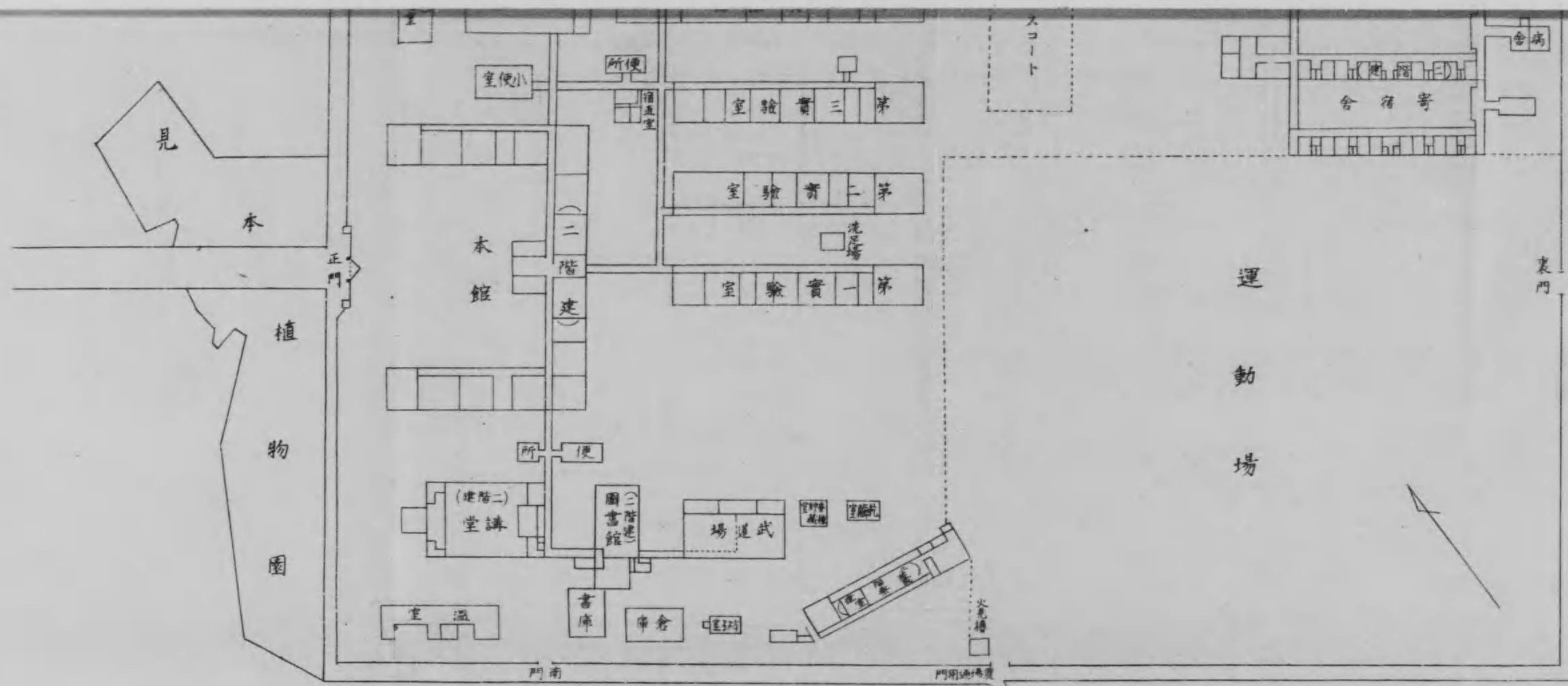
# 三 重 高 等 農 林 學 校

(一之合百二千尺縮)



(一之合百四十二尺縮)





(一之分百四十二尺縮)





291  
別庫  
72



終

終